

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 特 許 公 報 (B2)

(11) 特許番号

特許第5008232号
(P5008232)

(45) 発行日 平成24年8月22日 (2012. 8. 22)

(24) 登録日 平成24年6月8日 (2012. 6. 8)

(51) Int.Cl.

F 1

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

A 6 3 F 5/04 5 1 2 C

請求項の数 8 (全 44 頁)

(21) 出願番号	特願2001-246674 (P2001-246674)	(73) 特許権者	000144153
(22) 出願日	平成13年8月15日 (2001. 8. 15)		株式会社三共
(65) 公開番号	特開2003-52889 (P2003-52889A)		東京都渋谷区渋谷三丁目2 9 番 1 4 号
(43) 公開日	平成15年2月25日 (2003. 2. 25)	(74) 代理人	100098729
審査請求日	平成20年7月22日 (2008. 7. 22)		弁理士 重信 和男
前置審査		(74) 代理人	100116757
			弁理士 清水 英雄
		(74) 代理人	100123216
			弁理士 高木 祐一
		(74) 代理人	100163212
			弁理士 溝渕 良一
		(74) 代理人	100173048
			弁理士 小椋 正幸
		(74) 代理人	100148161
			弁理士 秋庭 英樹

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 スロットマシン

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

1 ゲームに対して賭数を設定することによりゲームが開始可能となるとともに、表示状態を変化させることが可能な可変表示装置の表示結果が導出表示されることにより1ゲームが終了し、前記可変表示装置の表示結果に応じて所定の入賞が発生可能なスロットマシンにおいて、

前面が開口する本体と、

前記本体の前面開口を開閉可能に設けられる前面扉と、

少なくとも一部に透光性領域を有するカバー部材と、

前記カバー部材の後面側に配置され、前記透光性領域に対応する箇所に装飾が施された化粧部材と、

前記化粧部材の後面側に配置され、該化粧部材の後面を被覆する後部カバー部材と、

前記ゲームの進行を制御する遊技制御手段と、

該遊技制御手段とは別個に設けられるとともに、前記ゲームの進行に関わる所定の演出を実行可能な演出手段を制御する演出制御手段と、を備え、

前記可変表示装置と前記遊技制御手段とが互いに一体的に組み付けられたユニットは、前記本体に対して交換可能に取り付けられ、

前記化粧部材、前記カバー部材、前記後部カバー部材は、該化粧部材が前記カバー部材及び前記後部カバー部材により挟持され互いに枠体に一体的に組み付けられた状態で前記前面扉の前面側から該前面扉の一部の領域である所定領域に前記枠体を介して係止され、

10

20

前記前面扉を開放して前記前面扉の後面側から前記係止を解除することにより取り外される、

ことを特徴とするスロットマシン。

【請求項 2】

前記後部カバー部材は、透光性部材にて構成され、

前記前面扉の所定箇所には、前記後部カバー部材を後側から照らす照明装置が設けられている請求項 1 に記載のスロットマシン。

【請求項 3】

前記ユニットに、前記演出制御手段が一体的に組み付けられている請求項 1 または 2 に記載のスロットマシン。

【請求項 4】

前記演出手段は、複数種類の機種で共通して使用することが可能であり、前記前面扉に対して予め取り付けられている請求項 1 ～ 3 のいずれかに記載のスロットマシン。

【請求項 5】

前記演出手段は、機種に固有のものであり、前記ユニットに対して予め取り付けられている請求項 1 ～ 4 のいずれかに記載のスロットマシン。

【請求項 6】

前記化粧部材は、前記前面扉における複数箇所に別々に取り付けられている請求項 1 ～ 5 のいずれかに記載のスロットマシン。

【請求項 7】

前記化粧部材に、前記ゲームに関わる所定の情報を表示する情報表示部が設けられている請求項 1 ～ 6 のいずれかに記載のスロットマシン。

【請求項 8】

前記化粧部材に、前記スロットマシンの機種名等を表示する機種名表示部が設けられている請求項 1 ～ 7 のいずれかに記載のスロットマシン。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、1 ゲームに対して賭数を設定することによりゲームが開始可能となるとともに、表示状態を変化させることが可能な可変表示装置の表示結果が導出表示されることにより 1 ゲームが終了し、前記可変表示装置の表示結果に応じて所定の入賞が発生可能なスロットマシンに係わり、特に機種変更に対して容易に対応出来るスロットマシンに関する。

【0002】

【従来の技術】

従来、スロットマシンにおける機種変更の際には、ゲーム性に変更されるのに伴い、例えば外観のデザインや内部の各種装置の変更がなされるため、各種装置が内設された筐体、またはその筐体の前面を開閉自在に閉塞する前面扉、またはこれら筐体と前面扉とからなる本体ごと回収して交換するのが一般的であった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、上記のように機種変更の度に筐体や前面扉を交換する場合、回収の手間やコストが嵩むといった問題を有していた。

【0004】

また、特に近年においては、機種変更のサイクルが短期化する傾向にあるため、従来のような交換にかかる手間やコストの問題等を考慮すると、頻繁な機種変更に対応していくことは非常に困難であった。

【0005】

本発明は、このような問題点に着目してなされたもので、機種変更に伴う各種の変更に容易に対応できるスロットマシンを提供することを目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】

上記課題を解決するために、本発明のスロットマシンは、

1 ゲームに対して賭数を設定することによりゲームが開始可能となるとともに、表示状態を変化させることが可能な可変表示装置の表示結果が導出表示されることにより1ゲームが終了し、前記可変表示装置の表示結果に応じて所定の入賞が発生可能なスロットマシンにおいて、

前面が開く本体と、

前記本体の前面開口を開閉可能に設けられる前面扉と、

少なくとも一部に透光性領域を有するカバー部材と、

前記カバー部材の後面側に配置され、前記透光性領域に対応する箇所に装飾が施された化粧部材と、

前記化粧部材の後面側に配置され、該化粧部材の後面を被覆する後部カバー部材と、

前記ゲームの進行を制御する遊技制御手段と、

該遊技制御手段とは別個に設けられるとともに、前記ゲームの進行に関わる所定の演出を実行可能な演出手段を制御する演出制御手段と、を備え、

前記可変表示装置と前記遊技制御手段とが互いに一体的に組み付けられたユニットは、前記本体に対して交換可能に取り付けられ、

前記化粧部材、前記カバー部材、前記後部カバー部材は、該化粧部材が前記カバー部材及び前記後部カバー部材により挟持され互いに枠体に一体的に組み付けられた状態で前記前面扉の前面側から該前面扉の一部の領域である所定領域に前記枠体を介して係止され、前記前面扉を開放して前記前面扉の後面側から前記係止を解除することにより取り外される、

ことを特徴としている。

この特徴によれば、ユニットをスロットマシンの本体から取り外すことで、可変表示装置及びゲームの進行を制御する遊技制御手段と一緒に取り外すことが出来るため、交換作業が容易になる。また、装飾が施された化粧部材を交換することで、前面扉の前面意匠を、前面扉全体を交換することなく容易に変更することが出来るとともに、化粧部材の前面はカバー部材により保護されるため、化粧部材の前面の劣化や損傷が効果的に防止される。

また、カバー部材、化粧部材、後部カバー部材の前面扉への取り付け、取り外しを容易に行うことが出来るばかりか、取り付け時におけるカバー部材と化粧部材と後部カバー部材との位置ずれ等が効果的に防止される。

さらに、カバー部材、化粧部材、後部カバー部材が不正に取り外されることを防止できる。

なお、前記化粧部材は、前記前面扉に対して交換可能に取り付けられていれば、前面扉に取り付けられたカバー部材に取り付けられていてもよい。

【0007】

本発明のスロットマシンは、

前記後部カバー部材は、透光性部材にて構成され、

前記前面扉の所定箇所には、前記後部カバー部材を後側から照らす照明装置が設けられていることが好ましい。

このようにすれば、後部カバー部材を通して化粧部材を後側から照らすことが出来る。

【0011】

本発明のスロットマシンは、前記カバー部材は、前記前面扉の後面側から取り付けられていることが好ましい。

このようにすれば、前面扉の前方からのカバー部材の取り外しが困難となるため、スロットマシン本体内部の各種装置への不正行為を効果的に防止出来る。

【0012】

本発明のスロットマシンは、1ゲームに対して賭数を設定することによりゲームが開始可能となるとともに、表示状態を変化させることが可能な可変表示装置の表示結果が導出表

10

20

30

40

50

示されることにより 1 ゲームが終了し、前記可変表示装置の表示結果に応じて所定の入賞が発生可能なスロットマシンにおいて、該スロットマシンは、前記ゲームの進行を制御する遊技制御手段と、該遊技制御手段とは別個に設けられるとともに、前記ゲームの進行に関わる所定の演出を実行可能な演出手段を制御する演出制御手段と、を備え、少なくとも前記可変表示装置と前記遊技制御手段とが互いに一体的に組み付けられたユニットが、前記スロットマシンの本体に対して交換可能に取り付けられており、また、前記スロットマシンの前面側に設けられる前面扉の少なくとも一部に透光性領域が形成されるとともに、この透光性領域の後面側には、少なくとも一部に装飾が施された化粧部材が前記前面扉に対して交換可能に取り付けられ、前記透光性領域を通して前記化粧部材に施された装飾が視認可能に構成されていることを特徴としている。

10

この特徴によれば、ユニットをスロットマシンの本体から取り外すことで、可変表示装置及びゲームの進行を制御する遊技制御手段と一緒に取り外すことが出来るため、交換作業が容易になる。また、装飾が施された化粧部材を交換することで、前面扉の前面意匠を、前面扉全体を交換することなく容易に変更することが出来るとともに、化粧部材の前面は前面扉により保護されるため、化粧部材の前面の劣化や損傷が効果的に防止される。

【 0 0 1 3 】

本発明のスロットマシンは、前記化粧部材のさらに後面側には、該化粧部材の後面を被覆する後部カバー部材が、前記前面扉に対して取り付けられていることが好ましい。

このようにすれば、化粧部材の後面が後部カバー部材により保護されるため、化粧部材の劣化や損傷が防止されるばかりか、取り付けられた化粧部材のよれや位置ずれ等が効果的に防止される。

20

なお、前記後部カバー部材は、前記前面扉に対して取り付けられていれば、前面扉に対して交換可能に取り付けられた化粧部材に取り付けられていてもよい。

【 0 0 1 4 】

本発明のスロットマシンは、前記化粧部材及び前記後部カバー部材は、互いに一体的に組み付けられた状態で前記前面扉に対して着脱自在に取り付けられていることが好ましい。このようにすれば、化粧部材及び後部カバー部材の前面扉への取り付け、取り外しを容易に行うことが出来るばかりか、取り付け時における化粧部材と後部カバー部材との位置ずれ等が効果的に防止される。

【 0 0 1 5 】

30

本発明のスロットマシンは、前記ユニットに、前記演出制御手段が一体的に組み付けられていることが好ましい。

このようにすれば、ユニットをスロットマシンの本体から取り外すことで、可変表示装置及びゲームの進行を制御する遊技制御手段とともに、演出手段を制御する演出制御手段と一緒に取り外すことが出来るため、交換作業が容易になる。

【 0 0 1 6 】

本発明のスロットマシンは、前記演出手段は、複数種類の機種で共通して使用することが可能であり、前記前面扉に対して予め取り付けられていることが好ましい。

このようにすれば、交換が不要な演出手段の取り付け、取り外しの手間を省くことが出来るため、交換作業が容易になる。

40

【 0 0 1 7 】

本発明のスロットマシンは、前記演出手段は、機種に固有のものであり、前記ユニットに対して予め取り付けられていることが好ましい。

このようにすれば、ユニットをスロットマシンの本体から取り外すことで、可変表示装置及びゲームの進行を制御する遊技制御手段とともに演出手段と一緒に取り外すことが出来るため、交換作業が容易になる。

【 0 0 1 8 】

本発明のスロットマシンは、前記化粧部材は、前記前面扉における複数箇所に別々に取り付けられていることが好ましい。

このようにすれば、前面扉の意匠を部分的に変更することが可能となる。

50

【 0 0 1 9 】

本発明のスロットマシンは、前記化粧部材に、前記可変表示装置の可変表示部を視認可能とする窓部が設けられていることが好ましい。

このようにすれば、可変表示装置の可変表示内容の変更に伴う前面扉の意匠の変更に容易に対応出来る。

【 0 0 2 0 】

本発明のスロットマシンは、前記化粧部材に、前記ゲームに関わる所定の情報を表示する情報表示部が設けられていることが好ましい。

このようにすれば、ゲーム内容の変更に伴うゲームに関わる情報の表示内容の変更に容易に対応出来る。

10

【 0 0 2 1 】

本発明のスロットマシンは、前記化粧部材に、前記スロットマシンの機種名等を表示する機種名表示部が設けられていることが好ましい。

このようにすれば、機種変更に伴う機種名の変更に容易に対応出来る。

【 0 0 2 2 】

本発明のスロットマシンは、前記化粧部材の後方には、前記化粧部材を装飾する装飾装置が組み付けられたユニット部材を備えるとともに、該ユニット部材により前記化粧部材は前記カバー部材の後面に対して圧接して取り付けられていることが好ましい。

このようにすれば、化粧部材を装飾する装飾装置が組み付けられたユニット部材により化粧部材がカバー部材の後面に対して圧接されるため、化粧部材のよれや位置ずれ等が効果的に防止されるとともに、化粧部材の取り付けが容易になる。

20

【 0 0 2 3 】

本発明のスロットマシンは、前記ユニット部材は、その周縁のうちの一端縁を中心にして、前記前面扉に対して回動自在に枢支されていることが好ましい。

このようにすれば、ユニット部材の前面扉への位置決めが容易となるばかりか、固定箇所が少なく済むため作業性が向上する。

【 0 0 2 4 】

【 発明の実施の形態 】

以下、本発明の実施の形態を図面に基づいて詳細に説明する。

【 0 0 2 5 】

まず、本発明の実施例を図面を用いて説明すると、図 1 には、本発明が適用された遊技機の一例であるスロットマシンの全体正面図、図 2 及び図 3 にはスロットマシン 1 の内部構造図がそれぞれ示されている。スロットマシン 1 の本体は、前面が開口する筐体 2 (図 2 参照) と、この筐体 2 の側端に回動自在に枢支された前面パネルとしての前面扉 4 とから構成されており、前面扉 4 の裏面に設けられた施錠装置 3 (図 3 参照) の鍵穴 3 a に挿入した所定のキーを時計回り方向に回動操作することにより施錠が解除されて前面扉 4 を開放することが出来るようになっている。

30

【 0 0 2 6 】

前面扉 4 の前面における上、中、下段領域には、後述するカバー部材としての前面カバーパネル 3 0 3、3 3 1、3 2 0 がそれぞれ設けられているとともに、上段の前面カバーパネル 3 0 3 の周囲前面側には上部飾り枠 3 0 6 が、中段の前面カバーパネル 3 3 1 の周囲前面側には中央部飾り枠 3 5 3 が、下段の前面カバーパネル 3 2 0 の周囲前面側には下部飾り枠 3 2 3 がそれぞれ設けられている。

40

【 0 0 2 7 】

中段の前面カバーパネル 3 3 1 と下段の前面カバーパネル 3 2 0 との間には前面側に突出する突出部 7 が形成されており、この突出部 7 には、メダル投入部 3 4 や各種操作ボタン 3 5、3 6 a、3 6 b、3 7、4 0 L、4 0 C、4 0 R、及びスタートレバー 3 8 等が設けられているとともに、突出部 7 の側面から下部周面には、内部に遊技効果 LED 1 3 2 が内蔵される遊技効果 LED 部 4 2 が設けられている。また、この遊技効果 LED 部 4 3 の左右側下方には、内部に遊技効果 LED 1 3 3 が内蔵される略三角形の遊技効果 LED

50

D部43が設けられている。

【0028】

下段の前面カバーパネル320の下方には、遊技媒体の一例となるメダルが払出されるメダル払出穴9が設けられているとともに、端部に灰皿10が設けられたメダル受皿11が設けられている。なお、このメダル排出穴9は、その下端周縁がメダル受皿11の上面最上位とほぼ同じ高さに位置するように形成されているため、メダル受皿11内がメダルにより充満された状態においてメダルの払出しがなされてもメダル排出穴9内にメダルが詰まることがない。なお、このメダル排出穴9は、その下端周縁がメダル受皿11の上面最上位よりも上方の高さに位置するように形成されていればメダル詰まりをより効果的に回避出来る。

10

【0029】

また、前面扉4の上端及び左右端周縁近傍には、内部に遊技効果LED131が内蔵される遊技効果LED部41がスロットマシン1全体を囲むように設けられている。

【0030】

上段の前面カバーパネル303の略中央位置には、遊技に関わる種々の内容の演出を画像により表示可能な演出手段としての液晶表示部135（図4参照）の液晶表示部15が設けられているとともに、この液晶表示部15の左右側には、後述するように前面扉4の裏面に設けられる高音用のスピーカ136a、136b（図3、図4参照）から出力される音を放音する放音部12a、12bがそれぞれ設けられている。また、メダル払出穴9の側方にも前面扉4の裏面に設けられる低音用のスピーカ137（図3、図4参照）から出力される音を放音する放音部13が設けられており、これら放音部12a、12b、13からは、各スピーカ136a、136b、137から出力される演出効果を高めるための音声やメロディ等の効果音が放音されるようになっている。さらに前面カバーパネル303における液晶表示部15の左右側には、入賞図柄等が示される遊技情報表示部8が設けられている。

20

【0031】

中段の前面カバーパネル331内には、スロットマシン1の筐体2に内设されたリール51L、51C、51Rを透視可能な透視窓14と、透視窓14の左側及び右側に位置する演出用表示部16～25と、透視窓14の下側に位置するクレジット表示部31、ゲーム回数表示部32、ペイアウト表示部33及び、リプレイ表示部27、スタート表示部28、ウェイト表示部29、投入指示表示部30、1枚賭け表示部45、2枚賭け表示部46、3枚賭け表示部47と、がそれぞれ設けられている。

30

【0032】

1枚賭け表示部45、2枚賭け表示部46、3枚賭け表示部47は遊技者がゲームに賭けた賭数を表示し、1枚賭け表示部45の内部には1枚賭けLED115が、2枚賭け表示部46の内部には2枚賭けLED116、3枚賭け表示部47の内部には3枚賭けLED117がそれぞれ内蔵されている（図3、図4参照）。また、演出用表示部21～25は、図のように透視窓14の左右側、及び後述するリール間隠蔽部材53に描かれた5つの入賞ラインL1、L2、L2'、L3、L3'のいずれかと対応しており、賭数に応じて有効化された入賞ラインL1、L2、L2'、L3、L3'を識別可能に報知する有効ライン表示部と兼用されている。

40

【0033】

リプレイ表示部27は、リプレイ入賞が発生した場合に、その内部に内蔵されたリプレイLED111（図3、図4参照）が点灯する。スタート表示部28は、賭数が設定されることによりスタート操作をすることが可能となった場合に、その内部に内蔵されたスタートLED112（図3、図4参照）が点灯し、有効なスタート操作が検出されることにより消灯する。

【0034】

ウェイト表示部29は、ウェイトタイム中にスタート操作が検出された場合に、その内部に内蔵されたウェイトLED113（図3、図4参照）が点灯し、ウェイトタイムが経過

50

した後に消灯する。ウェイトタイムは、ゲームがあまりに速く進行しすぎてしまうことを規制するために設定されたゲーム進行規制期間であり、このウェイトタイム中にスタート操作が検出されると、ウェイトタイムが経過した後にリールが始動するように設定されている。従って、十分な時間間隔を空けてゲームを進行する場合にはスタートレバー 38 の操作時にゲームの進行が規制されることはないが、短時間でゲームを進行しようとする場合にはウェイトタイムによってゲームの進行が一時的に規制され、ウェイトタイムが経過するまでの間リールの始動待ち状態となる。

【 0 0 3 5 】

なお、このスロットマシン 1 では、前回のゲームでリールの回転が開始した時点を経準として、例えば 4 . 1 秒のゲーム進行規制期間が設定されており、前回のゲームでリールの回転が開始された時点から 4 . 1 秒が経過する前に、今回のスタート操作が検出された場合、ゲーム進行規制期間が経過した後にリールの回転が開始される。

10

【 0 0 3 6 】

投入指示表示部 30 は、メダルを受付可能な状態である場合に、その内部に内蔵された投入指示 LED 114 (図 3、図 4 参照) が点滅し、最大の賭数が設定され、かつ、クレジット数が予め定められた上限値に達した場合、ゲームが開始された場合等に消灯する。

【 0 0 3 7 】

クレジット表示部 31 は、その内部に内蔵されたクレジット表示器 108 によりクレジット数が表示される。クレジットとは、遊技者所有の有価値としてスロットマシン 1 内部の記憶部に記憶されているメダル数であり、メダル投入口へのメダルの投入、及び払出しのある入賞の発生等によって加算更新され、賭数を設定したり、精算操作に基づいてメダルを払出ししたりすることによって減算更新される。このスロットマシン 1 では、クレジットとして記憶可能な価値の上限値が最大でメダル 50 枚分とされており、この上限値 (メダル 50 枚) に達した場合には投入指示表示部 30 が消灯する。そして、上限値を越えるクレジットの加算更新の要求が発生した場合にはその上限を越えるメダルがメダル払出穴 9 から払出される。

20

【 0 0 3 8 】

ゲーム回数表示部 32 は、その内部に内蔵されたゲーム回数表示器 109 によりビッグボーナス中のレギュラーボーナス入賞状況や、レギュラーボーナス中の入賞回数等を表示し、特にビッグボーナスが終了して打ち止め状態となった際には「 E N D 」という文字を表示して、遊技者に打ち止め状態である旨を報知する。さらにゲーム回数表示部 32 は、スロットマシン 1 に発生した各種の異常を表示するエラー表示器としても機能する。例えば、制御部により検出される異常種別には、「払出しすべきメダルの不足状態」、「メダル詰まり」、「払出条件が成立していないにも拘わらず入賞図柄の組み合わせが導出表示されたこと」等がある。これらの異常が制御部により検出された場合、その異常種別を特定可能なエラーコードが「 E - 1 」や「 E - 2 」等の態様により表示される。

30

【 0 0 3 9 】

ペイアウト表示部 33 は、その内部に内蔵されたペイアウト表示器 110 により 1 ゲーム中に発生した入賞に基づいて遊技者に付与されるクレジット数を入賞がある毎に表示する。

40

【 0 0 4 0 】

なお本実施例においては、演出用表示部 16 はゲーム回数表示部 32、演出用表示部 17 はリプレイ表示部 27、演出用表示部 18 はウェイト表示部 28、演出用表示部 19 はスタート表示部 29、演出用表示部 20 は投入指示表示部 30、演出用表示部 21 は 1 枚賭け表示部 45、演出用表示部 22、23 は 2 枚賭け表示部 46、演出用表示部 24、25 は 3 枚賭け表示部 47 と同様の内容を表示する表示部として設けられているが、これら演出用表示部 16 ~ 25 が示す機能は各表示部 27 ~ 30、32、45 ~ 47 に備えられているとともに、これら各演出用表示部 16 ~ 25 に内蔵される各演出用ランプ 140 ~ 149 (図 3、図 4 参照) は後述する演出制御基板 201 (図 4 参照) に接続されているので、例えば他の演出等に関わる内容を表示する表示部とすることも可能である。

50

【 0 0 4 1 】

なお、演出用表示部 1 6 に関しては、後述するビッグボーナスが終了することにより打ち止め状態となった場合、及び何らかのエラーが発生して遊技を進行させることが出来ない状態となった場合に、その内部に内蔵されたゲームオーバー L E D 1 4 0 (図 3、図 4 参照) が点灯するようになっており、ゲームオーバー表示部として機能する。

【 0 0 4 2 】

また、各演出用表示部 1 6 ~ 2 5 の内部には、それぞれ演出用ランプ 1 4 0 ~ 1 4 9 (図 3、図 4 参照) が内蔵されており、演出用ランプ 1 4 0 を除く演出用ランプ 1 4 1 ~ 1 4 9 は、対応する各表示部 2 7 ~ 3 0、4 5 ~ 4 7 に内蔵された各 L E D 1 1 1 ~ 1 1 7 に対応して点灯、消灯するようになっている。

10

【 0 0 4 3 】

突出部 7 の上面右側にはメダル投入口が形成されたメダル投入部 3 4 が設けられているとともに、左側には精算ボタン 3 7、1 枚 B E T ボタン 3 6 a、M A X B E T ボタン 3 6 b がそれぞれ設けられている。

【 0 0 4 4 】

1 枚 B E T ボタン 3 6 a は、1 クレジットを賭ける際に押圧するボタンであり、M A X B E T ボタン 3 6 b は、1 ゲームにおいて許容される賭数の最大数 (本実施例ではメダル 3 枚分) をクレジットに記憶されている範囲内でゲームに賭ける際に押圧するボタンである。1 枚 B E T ボタン 3 6 a の内部には B E T ボタン L E D 1 2 1 a が、また、M A X B E T ボタン 3 6 b の内部には B E T ボタン L E D 1 2 1 b がそれぞれ内蔵されており (図 4 参照)、これらの B E T ボタン L E D 1 2 1 a、1 2 1 b は、対応する B E T ボタンが押圧されて賭数を設定可能な状態にある場合に点灯し、賭数を設定不可能な状態の場合に消灯する。

20

【 0 0 4 5 】

精算ボタン 3 7 は、記憶部に記憶されているクレジットの精算操作をする際に押圧するボタンであり、この精算ボタン 3 7 の押圧操作に伴い、クレジット表示部 3 1 に表示されているクレジット数が 0 になるまで減算更新されるとともに、クレジット相当数のメダルがメダル払出穴 9 から払出されるようになっている。

【 0 0 4 6 】

突出部 7 における前面には、スタートレバー 3 8、ストップボタン 4 0 L、4 0 C、4 0 R、メダル詰まり解除ボタン 3 5 がそれぞれ設けられている。スタートレバー 3 8 は、ゲームを開始する際に操作するレバーであり、賭数の設定終了後においてスタートレバー 3 8 を操作することにより各リール 5 1 L、5 1 C、5 1 R の回転が開始される。

30

【 0 0 4 7 】

各ストップボタン 4 0 L、4 0 C、4 0 R は、ゲームが開始した後にリール 5 1 L、5 1 C、5 1 R の回転を停止させる際に操作するボタンであり、ストップボタン 4 0 L の内部には操作有効 L E D 1 2 2 L が、ストップボタン 4 0 C の内部には操作有効 L E D 1 2 2 C が、ストップボタン 4 0 R の内部には操作有効 L E D 1 2 2 R が内蔵されている (図 4 参照)。これら操作有効 L E D 1 2 2 L、1 2 2 C、1 2 2 R は、対応するストップボタン 4 0 L、4 0 C、4 0 R の操作が有効である場合に点灯し、操作が無効である場合に消灯する。また、ストップボタン 4 0 L、4 0 C、4 0 R が配列されたストップボタンユニット 3 9 は、ビッグボーナス入賞やレギュラーボーナス入賞の内部当選フラグが設定されている場合に、その内部に内蔵されたボーナス告知 L E D 1 2 0 (図 4 参照) が点灯する。

40

【 0 0 4 8 】

メダル詰まり解除ボタン 3 5 は、メダル投入部 3 4 に投入されたメダルが内部で詰まった場合に、これを解消させる際に操作するボタンである。

【 0 0 4 9 】

次に、図 2 に示されるように、筐体 2 内略中央部には、ゲーム用識別情報としての複数種の図柄 (図示略) が印刷された透光性を有する帯状のリールシートが外周に巻回されたり

50

ール５１Ｌ、５１Ｃ、５１Ｒ（ゲームの進行を実行するために用いるゲーム用リール）、及びこれらリール５１Ｌ、５１Ｃ、５１Ｒを回転させるための各種装置が内蔵された前後面が開放するユニットとしての箱状のリールユニット５２が、筐体２内を上下に区画するように設けられた載置板９２の上面に対して交換可能に取り付けられており、これらリールユニット５２内に内蔵されたリール５１Ｌ、５１Ｃ、５１Ｒ及び各種装置により可変表示装置５０が構成されている。なお、このリールユニット５２の載置板９２に対する取り付け構造の詳細は後述することとする。

【００５０】

それぞれのリール５１Ｌ、５１Ｃ、５１Ｒは、各々に対応して設けられたステッピングモータからなる電氣的駆動源としてのリールモータ５４Ｌ、５４Ｃ、５４Ｒによりそれぞれ独立して縦方向に回転（駆動）、停止するように構成されており、各リール５１Ｌ、５１Ｃ、５１Ｒが回転することにより、表示窓１４には前記各種図柄が連続的に変化しつつ表示されるようになっている。

10

【００５１】

横方向に並設されたリール５１Ｌとリール５１Ｃとの間、及びリール５１Ｃとリール５１Ｒとの間には各リール間を閉塞する円弧状のリール間隠蔽部材５３が設けられており、各リール間から内部が見えないようになっている。透視窓１４のうち、リール間隠蔽部材５３によって視界が仕切られることによって分割される３つの領域、すなわち、各リールが視認出来る３つの領域部分を、各リールに対応させて左可変表示部、中可変表示部、右可変表示部（領域）と呼ぶ。

20

【００５２】

透視窓１４の各可変表示部からは、各リールに描かれた複数の図柄のうち、連続する３つの図柄が上段、中段、下段の位置に表示されるとともに、上段の上方部分には間もなく上段の位置に現れる図柄の一部が、下段の下方部分には間もなく可変表示部の下に隠れて見えなくなる図柄の一部がそれぞれ表示される。

【００５３】

各リール５１Ｌ、５１Ｃ、５１Ｒ内には各リールの基準位置を検出するリールセンサ５６Ｌ、５６Ｃ、５６Ｒが設けられており、このリールセンサ５６Ｌ、５６Ｃ、５６Ｒにより所定の図柄の停止位置を導出出来るようになっているとともに、各リール５１Ｌ、５１Ｃ、５１Ｒにおける特定の表示領域（上、中、下段の表示領域）を裏面から個別に照射可能な複数のリールＬＥＤ５５が、それぞれのリール５１Ｌ、５１Ｃ、５１Ｒの上、中、下段それぞれに４つずつ設けられており、これら各リールＬＥＤ５５は、通常時において透視窓１４に表示される各図柄を目立たせるように後方から点灯するバックライトとして機能するようになっている。

30

【００５４】

なお、前記遊技効果ＬＥＤ１３１～１３３及び前記リールＬＥＤ５５に関しては、単体で異なる７色に発光可能なＬＥＤが用いられている。

【００５５】

リールユニット５２の上面には、後述するように主に遊技の進行を制御する制御部２１０や各種回路が格納された遊技制御基板２００が収納された収納ケース５００が取り外し不能に固定されている。また、可変表示装置５０を構成するリールユニット５２における前方からみて右側の側板の内面上部には後述するリール中継基板２０３が、また、その下部には後述するリールＬＥＤ中継基板２０４がそれぞれ取り付けられている。

40

【００５６】

また、筐体２を前面側からみて右側の側板８７の内面におけるリールユニット５２の側方位置には、後述する外部出力基板２０５が取り付けられている。なお、筐体２の背板８５の上部所定箇所及び上板８８の所定箇所には放熱用穴部９０、９１がそれぞれ形成されており、これら穴部９０、９１の前面側は有孔板８９により覆われている。

【００５７】

またリールユニット５２は、筐体２内を上下に区画するように設けられた載置板９２の上

50

面に取り外し自在に取り付けられている。なお、このリールユニット５２の載置板９２に対する取り付け構造の詳細は後述することとする。

【００５８】

リールユニット５２の下方には、メダル投入部３４から投入されたメダルを貯留するホッパータンク５７が、筐体２を構成する下板上面に固設された案内レール５８を介して前方に引出し可能に配設されている。また、ホッパータンク５７の右側にはホッパータンク５７からオーバーフローしたメダルが貯留されるオーバーフロータンク５９が設けられている。このオーバーフロータンク５９内にはメダルを検出可能な満タンセンサ６０が設けられており、内部に貯留されたメダル貯留量が所定量以上となったことを報知出来るようになってい

10

【００５９】

ホッパータンク５７の下方部分にはホッパーモータ６２が設けられており、このホッパーモータ６２が回転することによりホッパータンク５７内のメダルがメダル排出口６３から排出される。排出されたメダルは、メダル排出口６３の近傍に設けられる払出しメダルセンサ６１により検出された後、後述する返却メダル流路７３を介してメダル払出穴９よりメダル受皿１１まで払い出される。なお、ホッパーモータ６２は、払出しメダルセンサ６１により所定枚数の払出メダルが検出された時点で停止するように制御されている。

【００６０】

ホッパータンク５７の側部には、メイン電源をＯＮ／ＯＦＦするメインスイッチ部６５と、ビッグボーナスの終了時や遊技中にエラーが生じた場合等において再びゲームを続行可能な状態にリセットするための第２リセットボタン６６と、入賞確率を変更可能とする設定ボタン６７と、自動精算機能をＯＮ／ＯＦＦする自動精算選択スイッチ部６８と、自動打止め機能をＯＮ／ＯＦＦする打止め選択スイッチ部６９と、遊技場の管理者等が所持する特定のキーを挿入した状態で所定の操作を行なうことで前記設定ボタン６７の操作を可能、不可とする設定キー挿入部７０と、が前面に設けられた電源ユニット６４が配設されている。

20

【００６１】

入賞確率は、本実施例では、予め定められた入賞確率の値を６つのパターンの設定値として記憶しており、これを上記設定ボタン６７を操作することにより任意に選択することで、入賞確率の異なる遊技を行うことが可能となる。

30

【００６２】

図３に示されるように、前面扉４の裏面略中央部には、メダル投入部３４から投入されたメダルをホッパータンク５７に導く投入メダルセクタ７１が固設されている。この投入メダルセクタ７１の上流側には不正メダル排出部７２が設けられており、大きさや厚みが適正メダルと異なる不正メダルは、投入メダルセクタ７１の下方に設けられる返却メダル流路７３の上部投入口に排出され、メダル払出穴９を介してメダル受皿１１に返却されるようになっている。

【００６３】

不正メダル排出部７２の下流側には、流下するメダル流路を選択的に切り替え可能とする流路切替ソレノイド１０７が設けられている。通常時において流路切替ソレノイド１０７は励磁されており、流下するメダルは流路を切り替えられることなく流下し、下流側に設けられた投入メダルセンサ１０６により検出された後、ホッパータンク５７内に貯留されるようになっている。そして例えばクレジット数が５０に達している場合、エラーが発生している場合、クレジットの清算処理が実行されている場合、ゲームが実行されている場合等においては流路切替ソレノイド１０７の励磁が解除されて流路が切替わり、メダルは返却流路を経て返却メダル流路７３に導かれるようになっている。

40

【００６４】

前面扉４の裏面上部には、遊技に関わる所定の演出の実行を制御する演出制御手段としての制御部２３０や各種回路等が格納されている演出制御基板２０１が収納された収納ケース５５０が取り付けられている。なお、この収納ケース５５０には、遊技情報表示部８を

50

後方から照らす蛍光灯 1 3 8 (図 4 参照)、及び中央表示パネル 3 0 1 を後方から照らす蛍光灯 1 3 8 (図 4 参照) や、演出手段としての液晶表示器 1 3 5 (図 4 参照) が備えられている。

【 0 0 6 5 】

収納ケース 5 5 0 の左右側には、高音用のスピーカ 1 3 6 a、1 3 6 b が前述した放音部 1 2 a、1 2 b にそれぞれ臨むように固設されているとともに、前面扉 4 における下部所定箇所裏面側には、低音用のスピーカ 1 3 7 が放音部 1 3 に臨むように固設されており、例えばメダルのメダル投入部 3 4 への投入、スタートレバー 3 8 の操作、ストップボタン 4 0 L、4 0 C、4 0 R の操作等、遊技中において各種動作がなされた場合や、特定の図柄の組み合わせが有効化された有効ライン上に揃って表示されて所定の入賞条件が成立した場合、あるいは後述するビッグボーナスやレギュラーボーナスが実行されている場合等の各種遊技状態において、該遊技状態に対応する所定の遊技効果音等が各スピーカ 1 3 6 a、1 3 6 b、1 3 7 から出力されるようになっている。

10

【 0 0 6 6 】

次に、遊技者が遊技 (ゲーム) を行なうための操作や、該操作に伴う各種装置の作動状況を説明する。

【 0 0 6 7 】

ゲームを開始する場合は、遊技者はまず投入指示 L E D 1 1 4 が点灯または点滅している時に、メダルやクレジットを使用して所望の大きさの有価価値を賭けて所望の大きさの賭数を設定する。賭数は、メダルをメダル投入部 3 4 から投入するか、あるいはクレジットを使用することにより設定出来るようになっている。クレジットを使用するには M A X B E T ボタン 3 6 b、または 1 枚 B E T ボタン 3 6 a を押圧すればよく、M A X B E T ボタン 3 6 b が押圧されるとクレジット表示部 3 1 に表示されたクレジット数が、本実施例で 1 ゲームにおいて許容される賭数の最大数である「 3 」だけ減算表示されてメダル 3 枚分の賭数が設定され、また、1 枚 B E T ボタン 3 6 a が押圧されるとクレジット表示部 3 1 に表示されているクレジット数が「 1 」だけ減算表示されてメダル 1 枚分の賭数が設定される。なお、クレジット表示部 3 1 に表示されるクレジット数が 3 に満たない場合、設定可能な賭数の範囲はそのクレジット数の範囲内に限られる。

20

【 0 0 6 8 】

遊技者により 1 枚のメダルがメダル投入部 3 4 から投入されるか、1 枚 B E T ボタン 3 6 a が押圧操作されると賭数が「 1 」に設定されるとともに、中段の横 1 列の入賞ライン L 1 が有効となり、この入賞ライン L 1 が有効となった旨を示す 1 枚賭け L E D 1 1 5、及び演出用ランプ 1 4 5 (図 3、図 4 参照) が点灯する。続けて 2 枚目のメダルがメダル投入部 3 4 から投入されるか、1 枚 B E T ボタン 3 6 a が 2 回押圧操作されると賭数が「 2 」に設定され、上、中、下段の横 3 列の入賞ライン L 1、L 2、L 2 ' が有効となり、これらの入賞ライン L 1、L 2、L 2 ' が有効となった旨を示す 1 枚賭け L E D 1 1 5、2 枚賭け L E D 1 1 6 及び演出用ランプ 1 4 5 ~ 1 4 7 が点灯する。続けて 3 枚目のメダルがメダル投入部 3 4 から投入されるか、1 枚 B E T ボタン 3 6 a が 3 回押圧操作されるか、あるいは M A X B E T ボタン 3 6 b が押圧されると賭数が「 3 」に設定され、上、中、下段の横 3 列の入賞ライン L 1、L 2、L 2 ' 及び斜め対角線上 2 列の入賞ライン L 3、L 3 ' が有効となり、これらの入賞ライン L 1、L 2、L 2 '、L 3、L 3 ' が有効となった旨を示す 1 枚賭け L E D 1 1 5、2 枚賭け L E D 1 1 6、3 枚賭け L E D 1 1 7、及び演出用ランプ 1 4 5 ~ 1 4 9 が点灯する。なお、賭数が最大数である「 3 」に設定された場合には、それを越える賭数を設定することは出来ないため B E T ボタン L E D 1 2 1 a、1 2 1 b は消灯する。

30

40

【 0 0 6 9 】

そして上記のように少なくとも最小数である「 1 」の賭数が設定された時点でスタートレバー 3 8 の操作が有効に受けられる状態、すなわち、ゲームが開始可能な状態となり、このスタートレバー 3 8 の操作が有効に受けられる状態になった旨を示すスタート L E D 1 1 2 が点灯される。

50

【0070】

なお、このようなメダルやクレジット等の設定される賭数に応じて有効化される有効ラインの本数、及び形状等は任意に変更可能であり、本実施例の形態に限定されるものではない。また、賭数に応じて有効化される有効ラインの本数も任意に設定変更可能であり、例えば1枚のメダル投入により上記5本全ての入賞ラインL1、L2、L2'、L3、L3'が有効化されるようになっていてもよい。

【0071】

スタートLED112が点灯している状態でスタートレバー38を押圧操作すれば、可変表示装置50が作動して各リール51L、51C、51Rが回転し、透視窓14には複数種類の図柄が連続的に変化するように表示される。前述したようにリール51L、51C、51Rの回転が開始されてから所定時間が経過すれば各ストップボタン40L、40C、40Rの操作が有効になり、これらストップボタン40L、40C、40Rの操作が有効になった旨を示す操作有効LED122L、122C、122Rが点灯する。操作有効LEDが点灯している状態で遊技者がいずれかのストップボタン40L、40C、40Rを押圧操作すれば、対応する操作有効LED122L、122C、122Rが消灯するとともに、対応するリール51L、51C、51Rの回転が停止され、透視窓14からは対応する可変表示部の上、中、下段に図柄が表示される。なお、ストップボタン40L、40C、40Rを押圧操作する順序は不定であって遊技者が任意に選択することが出来る。

【0072】

また、遊技者がストップボタン40L、40C、40Rを押圧操作しない場合には、所定時間（例えば30秒）が経過した時点で例えばリール51L、51C、51Rの優先順序で自動的に順次停止する。

【0073】

そして3つのうちいずれか2つのリールの回転が停止された時点で、賭数に応じて有効化されたいずれかの入賞ラインL1、L2、L2'、L3、L3'上に同種の図柄が揃って停止表示された場合にはリーチが成立する。

【0074】

さらに全てのリール51L、51C、51Rが停止された時点で、賭数に応じて有効化されたいずれかの入賞ラインL1、L2、L2'、L3、L3'上に予め定められた図柄の組み合わせが表示された場合は入賞となり、各種遊技効果LED部41～43の内部に内蔵された遊技効果LED130～133（図4参照）や入賞ラインL1、L2、L2'、L3、L3'に対応するリールLED55等が点灯するとともに、スピーカ136a、136b、137から効果音等が出力されること等による演出が実行される。そして、入賞内容に対応して予め定められた所定枚数のメダルが遊技者に対してクレジットとして払出されてクレジット表示部31に表示されたクレジット数が加算更新される。また、クレジット数が上限数に達した場合には、メダルが直接メダル払出穴から払い出される。これらメダルの払出し枚数はペイアウト表示部33に表示される。

【0075】

また、特に予め定められた特別図柄の組み合わせが表示されて大当たり入賞した場合等にあっては、メダルの払出しが行なわれるとともに、通常遊技状態とは異なるとともに、遊技者にとって有利な、すなわち大量のメダルを獲得出来る特別遊技状態が発生し、小役ゲームとレギュラーボーナスが提供されるビッグボーナス（以下BBと称する）や、1回のレギュラーボーナスが提供されるレギュラーボーナス（以下RBと称する）が遊技者に対して遊技価値として付与されるようになっている。

【0076】

なお、このように入賞することにより遊技者に対して付与される「遊技価値」は、メダル及びクレジット等の有価価値に限らず、上記のように大当たり入賞した場合等において遊技者に対して付与されるBBやRB等、遊技に関連する特典全てを含む。

【0077】

図4は、スロットマシン1に設けられた各種基板と電気部品との接続状況を説明するため

10

20

30

40

50

のブロック図である。また、図5は、遊技制御基板200に設けられた遊技制御手段としての制御部210の構成と、演出制御基板201に設けられた演出制御手段としての制御部230の構成と、を説明するためのブロック図である。

【0078】

スロットマシン1に設けられた各種基板のうち、遊技制御基板200によって遊技状態が制御され、演出制御基板201によって遊技状態に応じた演出制御がなされる。また、電源基板202にはスロットマシン1の外部から電源が供給される。この電源基板202には、AC100Vの電源の供給を受けるための電源コード84と、メインスイッチ80とが接続されている。

【0079】

遊技制御基板200は、演出制御基板201、電源基板202、リール中継基板203と配線接続されているとともに、リール中継基板203を介して外部出力基板205と、また、演出制御基板201を介してリールLED中継基板204と接続されている。

【0080】

遊技制御基板200の制御部210は、遊技状態がレギュラーボーナス状態であることを示すRB中信号や、遊技状態がビッグボーナス状態であることを示すBB中信号、各リール51L、51C、51Rに対応するリールモータ54L、54C、54Rを制御するためのリール制御信号（モータ位相信号）、賭数を設定するために用いられたメダル数を示すメダルIN信号、入賞の発生により遊技者に払出されたメダル（クレジット）数を示すメダルOUT信号などをリール中継基板203を介して外部出力基板205からスロットマシン1の外部に出力する制御を行う。なお、ストップスイッチ103L、103C、103Rの操作がなされた旨を示すストップスイッチ信号は、後述するようにストップスイッチ103L、103C、103Rから直接出力された信号である。

【0081】

遊技制御基板200には、各種のスイッチ、センサ、LED、ソレノイド、及び表示器からの配線が接続されている。

【0082】

例えば、電源基板202に配線接続された設定スイッチ83、設定キースイッチ82、第2リセットスイッチ81、払出しセンサ61、及びホッパーモータ62は、電源基板202によって中継されて遊技制御基板200と配線接続されており、それぞれのスイッチ及びセンサの検出信号は、遊技制御基板200の制御部210に入力される。また、制御部210は、メダルの払出し条件（メダルを払出す必要のある入賞の発生、精算スイッチ104からの検出信号の入力）が成立すると、ホッパーモータ62に制御信号を出力して、所定数のメダルを払出す払出し制御を実行する。

【0083】

リール中継基板203に配線接続されたリールモータ54L、54C、54R、及びリールセンサ56L、56C、56Rは、リール中継基板203によって中継されて遊技制御基板200に配線接続されており、リールセンサ56の検出信号は、遊技制御基板200の制御部210に入力される。リールLED55は、リールLED中継基板204によって中継されて演出制御基板201に配線接続されている。遊技制御基板200の制御部210は、始動条件（スタートスイッチ102の検出信号の入力）が成立すると、リールモータ54L、54C、54Rに制御信号を出力してリールの変動を開始させた後、表示結果を導出表示させる可変表示制御を実行する。

【0084】

遊技制御基板200に配線接続されたスイッチのうち、1枚BETスイッチ100は1枚BETボタン36aの操作を検出し、MAXBETスイッチ101はMAXBETボタン36bの操作を検知するスイッチであり、スタートスイッチ102はスタートレバー38の操作を検出するスイッチであり、左、中、右ストップスイッチ103L、103C、103Rは、左、中、右ストップボタン40L、40C、40Rの操作を検出するスイッチである。精算スイッチ104は、精算ボタン37の操作を検出するスイッチであり、第1

10

20

30

40

50

リセットスイッチ１０５は、施錠装置３の鍵穴３ａに挿入したキーによるスロットマシン１のリセット操作を検出するスイッチである。

【００８５】

投入メダルセンサ１０６は、メダル投入部３４に投入されたメダルを検出するセンサである。流路切替ソレノイド１０７は、メダル投入部３４に投入されたメダルの流路をホッパータンク５７側もしくはメダル払出穴９側に切り換えるためのソレノイドである。

【００８６】

クレジット表示器１０８はクレジット表示部３１を構成する表示器であり、ゲーム回数表示器１０９はゲーム回数表示部３２を構成する表示器であり、ペイアウト表示器１１０はペイアウト表示部３３を構成する表示器である。

10

【００８７】

リプレイＬＥＤ１１１は、リプレイ表示部２７に内蔵されるＬＥＤであり、スタートＬＥＤ１１２は、スタート表示部２８に内蔵されるＬＥＤであり、ウェイトＬＥＤ１１３はウェイト表示部２９に内蔵されるＬＥＤである。投入指示ＬＥＤ１１４は、投入指示表示部３０に内蔵されるＬＥＤである。

【００８８】

１枚賭けＬＥＤ１１５は１枚賭け表示部４５に、２枚賭けＬＥＤ１１６は２枚賭け表示部４６に、３枚賭けＬＥＤ１１７は３枚賭け表示部４７に内蔵されるＬＥＤである。なお、ボーナス告知ＬＥＤ１２０はストップボタンユニット３９に内蔵されるＬＥＤである。ＢＥＴボタンＬＥＤ１２１ａは１枚ＢＥＴボタン３６ａに、ＢＥＴボタンＬＥＤ１２１ｂはＭＡＸＢＥＴボタン３６ｂに内蔵されるＬＥＤである。左操作有効ＬＥＤ１２２Ｌは、左ストップボタン４０Ｌに内蔵されるＬＥＤであり、中操作有効ＬＥＤ１２２Ｃは、中ストップボタン４０Ｃに内蔵されるＬＥＤであり、右操作有効ＬＥＤ１２２Ｒは、右ストップボタン４０Ｒに内蔵されるＬＥＤである。

20

【００８９】

電源基板２０２あるいはリール中継基板２０３を介して、あるいはこれらの基板を介することなく遊技制御基板２００に配線接続された各種ＬＥＤ及び表示器は、遊技制御基板２００に搭載された制御部２１０によって制御される。また、制御部２１０は、遊技制御基板２００に接続され、または、電源基板２０２あるいはリール中継基板２０３を介して遊技制御基板２００に接続された各種スイッチ及びセンサの検出信号を受け、遊技状態を制御する。

30

【００９０】

特に、制御部２１０によって制御される「クレジット表示器１０８、ゲーム回数表示器１０９、ペイアウト表示器１１０、リプレイＬＥＤ１１１、スタートＬＥＤ１１２、ウェイトＬＥＤ１１３、投入指示ＬＥＤ１１４、各枚賭けＬＥＤ１１５～１１７、ボーナス告知ＬＥＤ１２０、左、中、右操作有効ＬＥＤ１２２Ｌ、１２２Ｃ、１２２Ｒ」は、遊技の進行に関わる情報を報知するものであり、それが機能しなければ遊技を行うことに支障が出るような、いわば“必須報知装置”といえる。これらの“必須報知装置”が遊技状態を制御する制御部２１０によって制御されるために、たとえ、演出制御基板２０１が故障したとしても、少なくとも遊技の進行に必要な情報が遊技者に提供される。このため、遊技者に不利な状態で遊技が進行してしまうことを防止できる。

40

【００９１】

図５を参照して、遊技制御基板２００に設けられた制御部２１０は、制御動作を所定の手順で実行することの出来るＣＰＵ（Central Processing Unit）２１１と、ＣＰＵ２１１の制御プログラムを格納するＲＯＭ（Read Only Memory）２１３と、必要なデータの書き込み及び読み出しが出来るＲＡＭ（Random Access Memory）２１２と、ＣＰＵ２１１と外部回路との信号の整合性をとるためのＩ／Ｏポート２１４とを含む。

【００９２】

また、遊技制御基板２００には、電源投入時にＣＰＵ２１１にリセットパルスを与える初期リセット回路２１７と、ＣＰＵ２１１にクロック信号を与えるクロック発生回路２１８

50

と、クロック発生回路 218 からのクロック信号を分周して割込パルスを定期的に CPU 211 に与えるパルス分周回路 (割込パルス発生回路) 219 と、一定範囲の乱数を高速で連続的に発生している乱数発生回路 221 と、乱数発生回路 221 から乱数をサンプリングするサンプリング回路 222 と、バッファ回路 220 とが設けられる。さらに、遊技制御基板 200 には、各種スイッチからの信号が入力されるスイッチ回路 215 や、モータ回路 216、その他、図示しないソレノイド回路等が設けられている。さらに、遊技制御基板 200 には、停電時に RAM 212 の記憶を保持させるためのバックアップ電源 223 が設けられている。RAM 212 には、各種表示器 (クレジット表示器 108、ゲーム回数表示器 109、ペイアウト表示器 110) に表示すべき情報、賭数、内部当選フラグ、出玉率の設定値など、遊技に必要な情報が記憶され、停電時にこれらの情報がバックアップされるために、停電の回復後に、停電発生前の遊技状態に復帰出来る。

10

【0093】

遊技制御基板 200 の制御部 210 から演出制御基板 201 へは、バッファ回路 220 を介して後述する各種コマンドが出力される。バッファ回路 220 は、遊技制御基板 200 の内部から外部への信号の出力を許容するが遊技制御基板 200 の外部から内部へ信号が入力されることを阻止する不可逆性出力手段として機能する。このため、遊技制御基板 200 と演出制御基板 201 との間において、遊技制御基板 200 から演出制御基板 201 への一方向通信が担保され、コマンドの伝送経路を介して遊技制御基板 200 に信号を入力させて不正な制御動作を行わせる不正行為を防止できる。

【0094】

20

演出制御基板 201 には、遊技効果 LED 131 ~ 133 と、液晶表示器 135 と、放音部 12a、12b、13 に内蔵されるスピーカ 136a、136b、137 と、上、中、下段の前面カバーパネルパネル 303、331、320 を内側から照らす各蛍光灯 138 と、演出用ランプ 140 ~ 149 と、がそれぞれ接続され、さらに、リール LED 中継基板 204 を介してリール 51L、51C、51R に内蔵されているリール LED 55 が接続されている。

【0095】

演出制御基板 201 には、マイクロコンピュータからなる制御部 230 と、各スピーカ 136a、136b、137 から音を出力させるためのスピーカ駆動回路 235 と、液晶表示器 135 を表示制御するための表示駆動回路 236 と、各種 LED を点灯あるいは点滅させるための LED 駆動回路 237 と、バックアップ電源 238 とが搭載されている。

30

【0096】

制御部 230 は、CPU 231 と、必要なデータの書き込み、及び書き出しが出来る RAM 232 と、制御プログラムを格納する ROM 233 と、I/Oポート 234 と、を含む。RAM 232 の記憶データはバックアップ電源 238 によりバックアップされているため、制御部 230 は、停電の回復時に停電発生前に記憶されていたデータに基づいて演出制御を再開出来る。

【0097】

制御部 230 の ROM 233 には、演出制御基板 201 から送信されたコマンドに対応した演出パターンを定めたデータテーブルが記憶されている。このデータテーブルは、各遊技効果 LED 131 ~ 133、液晶表示器 135、各スピーカ 136a、136b、137、各蛍光灯 138、各演出用ランプ 140 ~ 149、リール LED 55 別に分類されている。例えば所定の遊技情報を示すコマンドを受信した場合、制御部 230 はその遊技状態に応じた演出パターンを各データテーブルから読み出し、この読み出した演出パターンに応じて各遊技効果 LED 131 ~ 133、液晶表示器 135、各スピーカ 136a、136b、137、各蛍光灯 138、各演出用ランプ 140 ~ 149、及びリール LED 55 等を制御する。

40

【0098】

演出制御基板 201 によって制御される「各遊技効果 LED 131 ~ 133、液晶表示器 135、各スピーカ 136a、136b、137、各蛍光灯 138、各演出用ランプ 14

50

0～149、及びリールLED55」は、遊技制御基板200によって制御される各種表示器などに比較すると、それが機能しなくても遊技の進行自体には影響を与えるものでなく、演出効果を主眼においた、いわば、“演出装置”と呼べるものである。このため、たとえ、演出制御基板201に故障が発生したとしても、遊技者に不利な遊技が提供されてしまうことはないばかりか、制御部210の制御の負荷が軽減される。

【0099】

図5に示されるように、スタートスイッチ102の検出信号は、スイッチ回路215を介して制御部210に入力されるとともに、サンプリング回路222に入力される。制御部210は、スタートスイッチ102の検出信号を受け、モータ回路216を介してリール制御信号を出力する。このリール制御信号はリール中継基板203を介して各リール51L、51C、51R別に設けられたリールモータ54L、54C、54Rに入力される。また、リール制御信号は、リール中継基板203及び外部出力基板205を介してスロットマシン1の外部へ出力される。

10

【0100】

これにより、各リール51L、51C、51Rが変動し始める。また、リール制御信号の伝送経路は、リール中継基板203においてリールモータ54L、54C、54R側と外部出力基板205側とに分岐されており、外部出力基板205側へ出力されたリール制御信号は、外部出力基板205からスロットマシン1の外部へも出力される。このように、外部出力基板205から出力されるリール制御信号は、外部出力用に加工された信号ではなく、リールモータ54L、54C、54Rを駆動制御する信号そのものである。

20

【0101】

一方、サンプリング回路222は、スタートスイッチ102の検出信号が入力されたタイミングで乱数発生回路221から1個の乱数をサンプリングし、その乱数をCPU211に引き渡す。CPU211は、そのサンプリングされた乱数と、ROM213内に格納されている入賞役別の入賞判定テーブルとを参照して、入賞の発生を許容するか否かを入賞役別に決定し、その決定結果をRAM212に記憶させる。これにより、スタート操作がされたタイミングで、入賞役の当選の有無が決定される。制御部210は、その後、入賞役別の当選結果に応じてリールを制御する。

【0102】

さらに、制御部210は、スタートスイッチ102の検出信号が入力されたことに対応して、バッファ回路220を介して演出制御基板201にゲームの開始を特定可能なコマンドを出力する。演出制御基板201の制御部230は、そのコマンドに基づいてゲーム状況を把握し、ゲーム開始時に対応して定められた演出パターンに従い各遊技効果LED131～133、液晶表示器135、スピーカ136a、136b、137、リールLED55等を制御する。

30

【0103】

また、各ストップスイッチ103L、103C、103Rから出力されたストップスイッチ信号は、遊技制御基板200、リール中継基板203、および外部出力基板205を往復する信号経路を伝送された後、遊技制御基板200のスイッチ回路215に入力される。さらに、ストップスイッチ103L、103C、103Rから出力されたストップスイッチ信号は直接、外部出力基板205を介して外部に出力されるように構成されている。

40

【0104】

ストップスイッチ信号の入力を受けた制御部210は、モータ回路216を介してストップスイッチ信号に対応するリールモータ54L、54C、54Rを停止させるためのリール制御信号を出力する。このリール制御信号は、リールモータ54L、54C、54Rに入力されるとともに、外部出力基板205を介してスロットマシン1の外部へ出力される。

【0105】

さらに、制御部210は、ストップスイッチ信号が入力されたことに対応して、バッファ回路220を介して演出制御基板201にリールの停止時期を特定可能なコマンドを各リ

50

ール51L、51C、51R別に出力する。演出制御基板201の制御部230は、そのコマンドに基づいてリールの停止時期に対応して定められた演出パターンに従い、遊技効果LED131～133や、液晶表示器135や、スピーカ136a、136b、137、各蛍光灯138、各演出用ランプ140～149等を制御する。

【0106】

外部出力基板205から出力される信号は、たとえば、第3者機関が型式試験を行う際に利用可能である。この型式試験では、たとえば、各ストップボタン40L、40C、40Rの操作から190ms以内に各ストップボタン40L、40C、40Rに対応する各リール51L、51C、51Rが停止するか否かが確認される。このスロットマシン1の場合、各ストップスイッチ103L、103C、103Rから出力されたストップスイッチ信号が直接、外部出力基板205から出力されるために、各ストップボタン40L、40C、40Rが操作されたタイミングをスロットマシンの外部で正確に把握できる。同様に、モータ回路216から出力されるリール制御信号が直接、外部出力基板205から出力されるために、各リール51L、51C、51Rの始動および停止タイミングをスロットマシンの外部で正確に把握出来る。このため、外部出力基板205から出力される信号を用いて、「各ストップボタン40L、40C、40Rの操作から190ms以内に各ストップボタン40L、40C、40Rに対応する各リール51L、51C、51Rが停止するか否かの試験」を行った場合には、正確な試験結果が得られる。また、「遊技制御基板200の制御部210で一旦、信号を取り込んでから外部出力基板205に信号を出力するような構成」とした場合には、遊技制御基板200側で信号を加工して出力するような不正がなされるおそれもあるが、本実施の形態によると、かかる不正行為をも防止できる。

【0107】

次に、本実施例におけるスロットマシン1の本体を構成する筐体2及び筐体2の前面開口を開閉可能とする前面扉4の構造を主に図6～図10に基づいて説明する。

【0108】

まず、筐体2の内部に設置されるリールユニット52は、図2において前述したように、載置板92に対して取り外し自在に取り付けられている。詳しくは図6(a)に示されるように、金属板により構成されるリールユニット52の左右の側板の外面下方所定箇所の一部は外向きに屈曲形成されて突出片93、93が形成されているとともに、同じく金属板により構成される載置板92の上面所定箇所の一部は屈曲形成されており、リールユニット52の設置時において突出片93、93の上面に当接して上方への移動を規制するガイド片94、94がそれぞれ形成されている。また、リールユニット52の下板の前端から下向きに連設されたリールユニット前端片96には、リールユニット52を固定するためのネジ98を挿通可能な挿通孔97、97が形成されているとともに、載置板92の前端から下向きに連設された載置板前端片95には、ネジ98を螺入可能なネジ孔99、99が形成されている。

【0109】

リールユニット52を載置板92に固定するには、図6(a)に示されるように、リールユニット52を載置板92上に載置するとともに、リールユニット前端片96の後面が載置板前端片95の前面に当接するまで奥方に向けてスライド移動させる。そして突出片93、93がガイド片94、94の下面と載置板92の上面との間に差し込まれた状態で、挿通孔97、97からネジ98を挿通してネジ孔99、99に螺入する。これによりリールユニット52は、突出片93、93とガイド片94、94との係止作用と、ネジ98とにより移動不能に固定されることになる。また、ネジ98を外して筐体2の手前側に引き寄せれば簡単に取り外すことが出来る。

【0110】

このリールユニット52に内蔵されるリール51L、51C、51Rを制御する、すなわちゲームの進行を制御する遊技制御手段としての制御部210が設けられた遊技制御基板200が収納された収納ケース500は、前述したようにリールユニット52の上面に一

体的に取り付けられているため、リールユニット５２とともに取り外すことが出来る。

【０１１１】

この場合、例えばスロットマシン１の機種変更等に伴い、リール５１Ｌ、５１Ｃ、５１Ｒの周面に配置する図柄を変更する際等においては、そのリール５１Ｌ、５１Ｃ、５１Ｒの制御プログラム等も変更されるので、その制御プログラム等を登録するＲＯＭ２１３を備える制御部２１０が設けられた遊技制御基板２００も交換することが多い。よって、リールユニット５２に遊技制御基板２００が予め一体的に組み付けられていることで、互いを接続するケーブル等の配線を外すことなく、交換を要する両者を筐体２から一緒に取り外すことが出来るため、リールユニット５２及び遊技制御基板２００の交換作業を容易に行うことが出来る。

10

【０１１２】

また、このような機種変更の際において、演出手段としての液晶表示器１３５による演出内容を変更するのみの場合等においては、この液晶表示器１３５を制御する演出制御手段としての制御部２３０に設けられるＲＯＭ２３３内に登録する表示プログラム等を変更するだけで表示内容を容易に変更出来、液晶表示器１３５自体は交換不要で複数種類の機種間で共用出来るものであるため、前述したように演出手段としての液晶表示器１３５自体は前面扉４の裏面側に取り付けられていることにより、例えばリールユニット５２等を交換する際に一緒に取り外されたり、この交換作業の邪魔になることがない。すなわち、機種変更時等において交換不要な演出手段を取り外す手間がかからないため、交換作業効率の低減を回避できる。

20

【０１１３】

電源ユニット６４は、その後部上面所定箇所が筐体２の背板８５に固着された規制片１５０の下面に当接されているとともに、その前面下端縁から前方に向かって連設された前向片１５２に形成されたビス挿通孔（図示略）から挿通されて筐体２の底板８９内に螺入されたビス１５１により固定されている。このように、固定用のビス１５１を挿通する挿通孔が前向片１５２に形成されているので、ビス１５１による固定作業を筐体２の前方で容易に行うことが出来る。

【０１１４】

また、筐体２の左右の側板８６、８７の外面上部所定箇所には、この筐体２を搬送する際に取手として利用する凹部１５３が形成されている。このように手の係止部が、側板８６、８７を貫通する貫通穴でなく凹部により形成されていることにより、例えば貫通穴を閉塞部材等により閉塞したりすることなく、筐体２内部へ針金等を挿入されること等による不正行為を効果的に防止出来る。なお、手の係止部を形成するために貫通穴を形成した場合にあっては、貫通穴の内側に閉塞部材を設けることにより筐体２内部へ針金等を挿入されること等による不正行為を効果的に防止出来る。

30

【０１１５】

筐体２に向かって左側の側板８６には、前述したように前面扉４の一端側が回動自在に枢設されている。詳しくは、図３及び図６（ａ）に示されるように、前面扉４の一端側の側板内面に固設される上下方向に延びる金属製の固定板１５４の上下所定箇所には、蝶番１５５の一端側が固着されている。そして上下の蝶番１５５の他端側には、筐体２の側板８６の内面に当接する金属製の取付板１５６の上下所定箇所が予め固着されている。

40

【０１１６】

取付板１５６の上、中、下部所定箇所には、側板８６の内面における上、中、下部所定箇所に埋設されるナット１５７（図６（ｂ）、（ｃ）参照）に螺入される固定ネジ１５８を取付板１５６の一方の端部側から挿通可能とする略Ｌ字状の溝部１５９がそれぞれ形成されている。

【０１１７】

ここで前面扉４の筐体２への取り付け方法を簡単に説明する。まず、側板８６の内面における上、中、下部所定箇所に埋設されるナット１５７それぞれに、特に図６（ｂ）に示されるように、ワッシャ１６６を挿通した固定ネジ１５８の先端の一部のみを螺入しておく

50

。そして、前面扉 4 側に予め組み付けられた取付板 1 5 6 の各溝部 1 5 9 内に固定ネジ 1 5 8 を挿通し、固定ネジ 1 5 8 が溝部 1 5 9 の屈曲部に到達した時点で前面扉 4 を下降させると、取付板 1 5 6 の上、中、下部が溝部 1 5 9 内に挿通する固定ネジ 1 5 8 により係止されて位置決めされた状態となり、この状態において図 6 (c) に示されるように各固定ネジ 1 5 8 をドライバー等によりねじ込むことにより、前面扉 4 が筐体 2 に対して固定される。

【 0 1 1 8 】

このように、筐体 2 側に複数設けられた固定用の固定ネジ 1 5 8 それぞれに係止可能な取付板 1 5 6 が前面扉 4 側に予め一体的に組み付けられていることにより、固定ネジ 1 5 8 による固定を前面扉 4 を筐体 2 に対して係止して位置決めした状態で行うことが出来るため、前面扉 4 に設けられた各種装置等により前面扉 4 が重くなっている状態でも筐体 2 に対して簡単に取り付けることが出来る。

【 0 1 1 9 】

次に図 7 ~ 図 1 0 に基づいて、前面扉 4 の詳細な構造を説明する。

【 0 1 2 0 】

図 7 に示されるように、前面パネルとしての前面扉 4 は、主に非透光性の樹脂材等によりパネル状に形成される基体 1 6 0 からなり、前述したようにこの基体 1 6 0 の前面側には各パネル 3 0 3、3 2 0 や飾り枠 3 0 6、3 5 3、3 2 3 等が設けられるとともに、後面側にはパネル 3 3 1 や各種装置が取り付けられることにより構成されている。

【 0 1 2 1 】

基体 1 6 0 の前面側には、その上端及び左右側端部に沿って複数設けられる遊技効果 L E D 1 3 1 を覆うカバー体 1 6 1 が前面側に取り付けられている。このカバー体 1 6 1 は、内部の遊技効果 L E D 1 3 1 からの光がスロットマシン 1 の前方、上方、左右側方に向かって透光されるように、透明な樹脂材により正面視下向きコ字状に形成されている。また、このカバー体 1 6 1 により囲まれた領域における略中央位置には、各種ボタンやレバー等が設けられる突出部 7 を構成する突出パネル 1 6 2 が前方から取り付けられている。

【 0 1 2 2 】

基体 1 6 0 におけるカバー体 1 6 1 により囲まれた領域における突出部 7 よりも上方の領域の上部には、横長長方形状の上開口部 1 6 3 が形成されているとともに、その下部には下開口部 1 6 4 がそれぞれ形成されている。また、カバー体 1 6 1 により囲まれた領域における突出部 7 よりも下方の領域には、凹部 1 6 5 が形成されている。

【 0 1 2 3 】

上開口部 1 6 3 には、前述したカバー部材としての前面カバーパネル 3 0 3 と、この前面カバーパネル 3 0 3 の後面側に設けられる化粧部材としての化粧シート 3 0 4 と、さらにこの化粧シート 3 0 4 の後面側に設けられる後部カバー部材としての後面カバーパネル 3 0 5 とが一体化された上部飾り枠 3 0 6 が基体 1 6 0 の前面側から取り付けられるようになっている。

【 0 1 2 4 】

前面カバーパネル 3 0 3 は、ポリカーボネイト樹脂等の透光性の樹脂材により全体が透明に形成されているとともに、その長手方向左右側には、その後方に設けられるスピーカ 1 3 6 a、1 3 6 b から出力される音を前方に放音させるための複数の孔部 3 0 7 が形成されている。

【 0 1 2 5 】

化粧シート 3 0 4 は、ポリエステル樹脂材等によりシート状に形成されているとともに、長手方向略中央位置には、その後方に設けられる液晶表示器 1 3 5 の液晶表示部 1 5 を前面側から視認可能にするための開口部 3 0 8 が形成されているとともに、長手方向左右側端部には、その後方に設けられるスピーカ 1 3 6 a、1 3 6 b から出力される音を前方に放音させるための切欠部 3 0 9 が形成されている。そしてその前面には所定の装飾が予め印刷により施されている。この表面は所定の色（例えば青色等）にて着色されているとともに、開口部 3 0 8 の左右側の領域には、図 1 に示されるそのスロットマシン 1 における

大当り、小役図柄が印刷されており、前述したような遊技情報表示部 8 を構成する。

【 0 1 2 6 】

なお、この化粧シート 3 0 4 の前面に施す装飾は、このような入賞発生の対象となる大当り、小役等の図柄の組み合わせに限定されるものではなく、例えば遊技方法（大当り中におけるリプレイ外し方法や、ストップボタン 4 1 L、4 1 C、4 1 R の押し順等）や、発生可能な各種遊技状態（いわゆる遊技者にとって有利なビッグボーナス、レギュラーボーナスや、内部当選した小役賞に対応する図柄が遊技者に報知されるアシストタイム、再遊技（リプレイ）が高確率で発生するリプレイタイム等）、これら各種遊技状態の発生が許容された場合に出現するリーチ目等、遊技に関わる種々の情報を表示可能である。

【 0 1 2 7 】

後面カバーパネル 3 0 5 は、ポリカーボネイト樹脂等の透光性の樹脂材により全体が透明に形成されているとともに、その長手方向左右側には、その後方に設けられるスピーカ 1 3 6 a、1 3 6 b から出力される音を前方に放音させるための切欠部 3 1 0 が形成されている。

【 0 1 2 8 】

これら前面カバーパネル 3 0 3、化粧シート 3 0 4、後面カバーパネル 3 0 5 は、図 7 及び図 8（a）に示されるように、化粧シート 3 0 4 を前面カバーパネル 3 0 3 と後面カバーパネル 3 0 5 とで前後方向から挟み込むように互いに重ね合わせて、前面カバーパネル 3 0 3 を上部飾り枠 3 0 6 の後面側に突き合わせた後、後面カバーパネル 3 0 5 の後側から、それぞれの四隅に形成されたネジ挿通孔 3 1 1、3 1 2、3 1 3 内にネジ 3 1 4 を挿通し、上部飾り枠 3 0 6 の裏面四隅に形成された雌ねじ部 3 1 5 内に螺入することにより、上部飾り枠 3 0 6 に一体的に取り付けることが出来る。

【 0 1 2 9 】

一方、開口部 1 6 3 の開口周縁には、基体 1 6 0 の前方から取り付けられる上部飾り枠 3 0 6 の後端縁に当接する内向片 3 1 6 が形成されているとともに、この内向片 3 1 6 の所定箇所には、上部飾り枠 3 0 6 の後端周縁所定箇所から後ろ向きに突設されるとともに、先端に係止爪 3 1 7 a を有する係止片 3 1 7 を挿通可能なスリット穴 3 1 8 が、各係止片 3 1 7 に対応して形成されている。

【 0 1 3 0 】

よって、前面カバーパネル 3 0 3、化粧シート 3 0 4、後面カバーパネル 3 0 5 が一体的に取り付けられた上部飾り枠 3 0 6 は、図 7 及び図 8（a）に示されるように、基体 1 6 0 の前方側から係止片 3 1 7 をスリット穴 3 1 8 内に差し込むようにして開口部 1 6 3 内に嵌合することにより、係止片 3 1 7 の係止爪 3 1 7 a が内向片 3 1 6 に係止されるため、この係止作用により開口部 1 6 3 に取り付けることが出来る。なお、取り外す場合には、基体 1 6 0 の後側から係止片 3 1 7 を変形させて、係止爪 3 1 7 a と内向片 3 1 6 との係止状態を解除することで容易に取り外すことが出来る。

【 0 1 3 1 】

次に、凹部 1 6 5 には、前述したカバー部材としての前面カバーパネル 3 2 0 と、この前面カバーパネル 3 2 0 の後面側に設けられる化粧部材としての化粧シート 3 2 1 と、さらにこの化粧シート 3 2 1 の後面側に設けられる後部カバー部材としての後面カバーパネル 3 2 2 とが一体化された下部飾り枠 3 2 3 基体 1 6 0 の前面側から取り付けられるようになっている。

【 0 1 3 2 】

前面カバーパネル 3 2 0、及び後面カバーパネル 3 2 2 は、ポリカーボネイト樹脂等の透光性の樹脂材により全体が透明に形成されている。

【 0 1 3 3 】

化粧シート 3 2 1 は、ポリエステル樹脂材等によりシート状に形成されているとともに、その前面には所定の装飾が予め印刷により施されている。この表面は所定の色（例えば青色等）にて着色されているとともに、このスロットマシン 1 の機種を特定可能なタイトル名（機種名）が印刷されており、前述したようなタイトル（機種名）表示部 2 6 を構成し

10

20

30

40

50

ている。

【0134】

なお、この化粧シート321の前面に施す装飾は、このようなタイトル名に限定されるものではなく、その機種固有の図柄等、種々の内容を表示することが可能である。

【0135】

これら前面カバーパネル320、化粧シート321、後面カバーパネル322は、図7及び図8(b)に示されるように、化粧シート321を前面カバーパネル320と後面カバーパネル322とで前後方向から挟み込むように互いに重ね合わせて、前面カバーパネル320を下部飾り枠323の後面側に突き合わせた後、後面カバーパネル322の後側から、それぞれの四隅に形成されたネジ挿通孔324、325、326内にネジ327を挿通し、下部飾り枠323の裏面四隅に形成された雌ねじ部328内に螺入することにより、下部飾り枠323に一体的に取り付けることが出来る。

10

【0136】

一方、凹部165の底面周縁には、基体160の前方から取り付けられる下部飾り枠323の後端縁が当接するとともに、下部飾り枠323の後端周縁所定箇所から後ろ向きに突設される、先端に係止爪329aを有する係止片329を挿通可能なスリット穴330が、各係止片329に対応して形成されている。なお、凹部165の底面略中央には、化粧シート321を後方から照らす蛍光灯138が取り付けられている。

【0137】

よって、前面カバーパネル320、化粧シート321、後面カバーパネル322が一体的に取り付けられた下部飾り枠323は、図7及び図8(b)に示されるように、基体160の前方側から係止片329をスリット穴330内に差し込むようにして凹部165内に嵌合することにより、係止片329の係止爪329aが底面に係止されるため、この係止作用により凹部165に取り付けることが出来る。なお、取り外す場合には、基体160の後側から係止片329を変形させて、係止爪329aと底面との係止状態を解除することで容易に取り外すことが出来る。

20

【0138】

下開口部164には、図9及び図10に示されるように、前述したカバー部材としての前面カバーパネル331と、この前面カバーパネル331の後面側に設けられる化粧部材としての化粧シート332と、さらにこの化粧シート332の後面側に設けられる後部カバー部材としての後面カバーパネル333とが、その端部複数箇所を保持するクリップ342により互いに重ね合わされた状態で、基体160の後面側から取り付けられるようになっている。

30

【0139】

前面カバーパネル331及び後面カバーパネル333は、下開口部164よりも若干大きく、ポリカーボネイト樹脂等の透光性の樹脂材により全体が透明に形成されている。

【0140】

化粧シート332は、ポリエステル樹脂材等により形成されているとともに、その表面には、後方に設けられる各種LED111～117からの光を前方に透過させるための孔部319と、演出用ランプ140～149からの光を前方に透過させるための透光窓334と、各種表示器108～110の表示部を前方から視認可能とする開口部335と、前述した各リール51L、51C、51Rにより構成される可変表示部を前面側から視認可能にする透明な透視窓14とが形成されている。なお、各透光窓334には、ランプの点灯により遊技者に報知する内容(文字、数字、図柄等)が図9に示されるように印刷されているとともに、透視窓14と左右の各透視窓334との間には入賞ラインL1～L3'(図1参照)が印刷されている。また、表面におけるこれら孔部319、透光窓334、開口部335以外の領域は、前面から内部が視認出来ないように所定の色(例えば青色等)にて着色されて非透光領域とされている。

40

【0141】

一方、基体160後面における下開口部164の下部所定箇所には、前述のようにクリッ

50

ブ 3 4 2 により一体的に組み付けられた状態で下開口部 1 6 4 の後面側に配置される前面カバーパネル 3 3 1、化粧シート 3 3 2、後面カバーパネル 3 3 3 の下端を支持する L 字状の 2 つの支持片 3 3 6 がそれぞれ突設されている。また、開口左右側所定箇所には、前面カバーパネル 3 3 1、化粧シート 3 3 2、後面カバーパネル 3 3 3 の左右端縁上部に当接して左右方向の移動を規制するガイド片 3 3 7 がそれぞれ突設されている。

【 0 1 4 2 】

下開口部 1 6 4 の上部所定箇所には、後述するユニット部材 3 4 0 を固定する固定ネジ 3 4 1 が螺合される雌ネジ部 3 3 8 a が形成された支柱 3 3 8 が立設されているとともに、開口周縁所定箇所には、前記クリップ 3 4 2 を収容可能とする収容凹部 3 3 9 が 4 箇所形成されている。さらに下開口部 1 6 4 の下方左右側所定箇所には、ユニット部材 3 4 0

10

【 0 1 4 3 】

さらに下開口部 1 6 4 の周囲には、下開口部 1 6 4 を通して針金等が差し込まれることによる不正行為を防止するための枠状の突片 3 7 0 が後向きに突設されている。詳しくは、この突片 3 7 0 が下開口部 1 6 4 を囲むように形成されていることで、例えば下開口部 1 6 4 の後面側に前面カバーパネル 3 3 1 が配置された状態において、基体 1 6 0 の前方から下開口部 1 6 4 の周縁部後面と前記前面カバーパネル 3 3 1 の周縁部前面との間から針金等が差し込まれても、針金の先端が突片 3 7 0 の内面に当接して進入が規制されるため、針金等による外部からの不正行為が効果的に抑制される。

【 0 1 4 4 】

20

なお、ここでは針金等の差込による不正行為を防止するために後向きの突片 3 7 0 が形成されているが、例えば前面カバーパネル 3 3 1 の周縁に前向きの折り返し片等を形成するとともに、基体 1 6 0 の後面における下開口部 1 6 4 の周縁部に前記折り返し片を嵌合可能な溝部等を形成しておくこと等によっても、前面カバーパネル 3 3 1 が配置された状態において下開口部 1 6 4 を通して針金等が差し込まれるのを効果的に防止することが出来る。

【 0 1 4 5 】

すなわち、このように基体 1 6 0 の開口部の周辺に前面カバーパネル 3 3 1 を着脱自在に設ける場合等においては、開口部周りに針金等の進入を規制する規制手段を形成しておくことが好ましい。

30

【 0 1 4 6 】

ユニット部材 3 4 0 は、演出用ランプ 1 4 0 ~ 1 4 4 が設けられたランプ基板 3 4 3 と、演出用ランプ 1 4 5 ~ 1 4 9 が設けられたランプ基板 3 4 4 と、各種 LED 1 1 1 ~ 1 1 7 及び各種表示器 1 1 0 ~ 1 1 2 が設けられた基板 3 4 5 とが一体的に組み付けられる部材であり、図 9 及び図 1 0 に示されるように、各種 LED 1 1 1 ~ 1 1 7、各種ランプ 1 4 0 ~ 1 4 9 及び各種表示器 1 1 0 ~ 1 1 2 を後側から収容可能に構成されているとともに、各種 LED 1 1 1 ~ 1 1 7、各種ランプ 1 4 0 ~ 1 4 9 からの光が前方に透過されるように、また、各種表示器 1 1 0 ~ 1 1 2 の表示部が前側に臨むように前後面が開口されている。

【 0 1 4 7 】

40

ユニット部材 3 4 0 は、図 1 0 に示されるように、その後方に設けられるリール 5 1 L、5 1 C、5 1 R を前方に臨ませるために、そのリール 5 1 L、5 1 C、5 1 R を前面側から視認可能とするように化粧シート 3 3 2 に形成された透視窓 1 4 を避けるように上向きに開口するコ字状に形成されている。また内部には、各種 LED 1 1 1 ~ 1 1 7、各種ランプ 1 4 0 ~ 1 4 9 及び各種表示器 1 1 0 ~ 1 1 2 間を仕切る仕切板 3 4 6 が複数設けられているとともに、各種基板 3 4 3 ~ 3 4 5 を後側から取り付けるための取付ネジ 3 4 7 が螺合される雌ネジ部 3 4 8 が設けられている。

【 0 1 4 8 】

ユニット部材 3 4 0 の左右側外面下部からは、円柱状の軸部材 3 4 9 がそれぞれ外向きに突設されているとともに、左右の腕部上端面には、基体 1 6 0 に対して固定するための固

50

定ネジ 341 を挿通する挿通孔 350 が形成された固定片 351 がそれぞれ上向きに突設されている。なお、左右の軸部材 349 を受支する軸受部材 352 は、上向きに開口する縦断面略 U 字状に形成されているため、特に図 10 に示されるようにユニット部材 340 を基体 160 に対して回動不能に固定した状態における軸部材 349 の軸受部材 352 からの後方への逸脱が防止されている。

【0149】

ここで前面カバーパネル 331、化粧シート 332、後面カバーパネル 333 の基体 160 における下開口部 164 への取り付け、取り外し方法を説明する。

【0150】

まず、前述したように、化粧シート 332 の前後面を前面カバーパネル 331 及び後面カバーパネル 333 により挟み込むように互いに重ね合わせた状態でクリップ 342 を介してこれらを一体化する。そして基体 160 の後側から、前面カバーパネル 331 を前向きにした状態でその下端を支持片 336 上に支持させるとともに、左右のガイド片 337 間に収まるように配置する。

【0151】

この時、各クリップ 342 の前面側は收容凹部 339 内に收容されるため、前面カバーパネル 331 の前面周縁部近傍が基体 160 の前方側から下開口部 164 周りに取り付けられた中央飾り枠 353 の後端に確実に当接され、下開口部 164 が前面カバーパネル 331 により覆われる（図 10 参照）。

【0152】

この状態で、各種 LED 111 ~ 117、140 ~ 149 及び各種表示器 110 ~ 112 が一体的に組み付けられたユニット部材 340 を、図 10 中 2 点鎖線で示されるように傾けた状態にして、その軸部材 349 を軸受部材 352 に嵌合する。そしてこの状態から、軸部材 349 を回動中心としてユニット部材 340 の上端側を反時計周りに回動させ、ユニット部材 340 の前端面を後面カバーパネル 333 の後面に当接させた状態で、固定ネジ 341 を固定片 351 の挿通孔 350 に後側から挿通して支柱 338 の雌ネジ部 338a に螺入する。

【0153】

このように固定ネジ 341 を雌ねじ部 338a 内に螺入することにより、後面カバーパネル 333 の後面にユニット部材 340 の前端面が圧接され、支持片 336 及びガイド片 337 により支持されて位置決めされた前面カバーパネル 331、化粧シート 332、後面カバーパネル 333 は、ユニット部材 340 により中央飾り枠 353 の後端面に対して押圧されるようになっている。

【0154】

よって、支持片 336 及びガイド片 337 により支持されて位置決めされた前面カバーパネル 331、化粧シート 332、後面カバーパネル 333 を基体 160 に対してネジ等を介して固定することなく、基体 160 とユニット部材 340 とで挟持して所定位置に保持することが出来るため、前面カバーパネル 331、化粧シート 332、後面カバーパネル 333 の取り付け、取り外しを容易に行うことが出来るばかりか、取り付けられた化粧シート 332 のよれや位置ずれが効果的に防止される。

【0155】

以上説明してきたように、本発明実施例のスロットマシン 1 にあっては、その本体を構成する筐体 2 の前面に設けられる前面パネルとしての前面扉 4 の基体 160 に対して、カバー部材としての前面カバーパネル 303、331、320 がそれぞれ着脱自在に取り付けられているとともに、この前面カバーパネル 303、331、320 の後面側には、前面の少なくとも一部に装飾が施された化粧シート 304、332、321 が、前記基体 160 に対して交換可能に取り付けられ、この前面カバーパネル 303、331、320 を通して化粧シート 304、332、321 に施された装飾が視認可能に構成されているため、装飾が施された化粧シート 304、332、321 を後述するように交換することで、基体 160 の前面意匠を、基体 160 全体を交換することなく容易に変更することが出来

10

20

30

40

50

るとともに、化粧シート304、332、321の前面は前面カバーパネル303、331、320により保護されるため、化粧シート304、332、321の前面の劣化や損傷が効果的に防止される。

【0156】

本実施例におけるカバー部材としての前面カバーパネル303、331、320は透明な樹脂材により形成され、全体が透光性を有していたが、本発明においては、その後面側に設けられる化粧シート304、332、321の前面に施された装飾の少なくとも一部を前方から視認可能となるように、透光性領域が少なくとも一部に形成されていればよい。また、透光性領域は必ずしも無色透明からなるものに限定されるものではなく、後面側に取り付けられる化粧シート304、332、321の前面に施された装飾の少なくとも一部を前方から視認可能であれば、着色されていてもよい。

10

【0157】

また、化粧シート304、332、321のさらに後面側には、前面カバーパネル303、331、320とは別個に形成される後部カバー部材としての後面カバーパネル305、333、322が、基体160に対して着脱自在に取り付けられているので、化粧シート304、332、321の後面が前面カバーパネル303、331、320により保護され、化粧シート304、332、321の前面の劣化や損傷が効果的に防止されるばかりか、配置された化粧シート304、332、321のよれや位置ずれ等が防止される。

【0158】

また、本実施例における後部カバー部材としての後面カバーパネル305、333、322は透明な樹脂材により形成され、全体が透光性を有していたが、これは、各後面カバーパネル305、333、322の後面側に設けられる装飾装置としての蛍光灯138や各種LEDからの光を前方に透光させるためであるため、このような必要がない場合においては、後部カバー部材に透光性領域を形成しなくてもよい。

20

【0159】

なお、本実施例におけるユニット部材340には、化粧シート332を装飾する装飾装置としての各種ランプ140～149、各種LED111～117、各種表示器108～110が組み付けられていたが、組み付けられる装飾装置は上記のようなランプ、LED、表示器等に限定されるものではなく、化粧シートを装飾可能な装置であれば蛍光灯や液晶表示器等であってもよい。さらに、化粧部材の後面側に設ける必要がある装置であれば、例えばスピーカ等が設けられてもよい。

30

【0160】

また、本実施例においては、前面カバーパネル303と化粧シート304と後面カバーパネル305とは、上部飾り枠306に対して一体的に組み付けられた状態で、また、前面カバーパネル320と化粧シート321と後面カバーパネル322とは、下部飾り枠323に対して一体的に組み付けられた状態で、また、前面カバーパネル331と化粧シート332と後面カバーパネル333とは、クリップ342を介して一体化された状態で、それぞれ基体160に対して着脱自在に取り付けられるため、これらの基体160への取り付け、取り外しを容易に行うことが出来るばかりか、前面及び後面カバーパネルにより挟持された状態で基体160に設けられた化粧シート304、332、321の位置ずれ等が効果的に防止される。

40

【0161】

さらに化粧シート304、332、321は、それぞれ基体160の上、中、下段位置に別々に設けられているため、例えば遊技情報表示部8に表示する内容のみを変更すればよい場合、透視窓14周りの表示部や装飾のみを変更すればよい場合、機種名表示部26に表示する内容のみを変更すればよい場合等において、基体160の前面意匠のうち変更が必要な箇所のみ部分的に変更することが可能となるため、化粧シートの交換が容易となる。

【0162】

詳しくは、基体160における、筐体2の上下方向略中央位置に配置されたリールユニッ

50

ト 5 2 (可変表示装置 5 0) の前方位置に、リール 5 1 L、5 1 C、5 1 R を前方から視認可能とするように構成された前面カバーパネル 3 3 1、化粧シート 3 3 2、後面カバーパネル 3 3 3 が設けられることにより、機種変更により、リール 5 1 L、5 1 C、5 1 R の周面に配置される図柄等が変更される場合等において、化粧シート 3 3 2 を、変更される図柄等に対応した装飾が施された化粧シートに変更するだけで透視窓 1 4 周りの装飾を容易に変更することが出来る。

【 0 1 6 3 】

また、基体 1 6 0 における、筐体 2 の上下方向略中央位置に配置されたリールユニット 5 2 (可変表示装置 5 0) よりも上方位置には、前面カバーパネル 3 0 3、化粧シート 3 0 4、後面カバーパネル 3 0 5 が設けられることで、基体 1 6 0 の上部領域の意匠のみを部分的に変更することが可能であるとともに、これとは別に基体 1 6 0 における、筐体 2 の上下方向略中央位置に配置されたリールユニット 5 2 (可変表示装置 5 0) よりも下方位置には、前面カバーパネル 3 2 0、化粧シート 3 2 1、後面カバーパネル 3 2 2 が設けられることで、基体 1 6 0 の下部領域の意匠のみを部分的に変更することが可能である。

10

【 0 1 6 4 】

前面カバーパネル 3 3 1、化粧シート 3 3 2、後面カバーパネル 3 3 3 にあっては、基体 1 6 0 の後面側に取り付けられており、基体 1 6 0 の前方からの取り外しが困難となっているため、筐体 2 内部に配設される各種装置、特に本実施例においては、その後方に設けられるリールユニット 5 2 の上面に固定される遊技制御基板 2 0 0 への不正行為を効果的に防止出来る。

20

【 0 1 6 5 】

また、前面カバーパネル 3 3 1、化粧シート 3 3 2、後面カバーパネル 3 3 3 は、基体 1 6 0 の後面側に回動自在に設けられるとともに、前面カバーパネル 3 3 1、化粧シート 3 3 2、後面カバーパネル 3 3 3 を後方から照らす各種ランプ、LED や表示器等が組み付けられるユニット部材 3 4 0 により後方から圧接されることにより配置位置に保持されるようになっているため、化粧シート 3 3 2 のよれや位置ずれ等が効果的に防止されるばかりか、ユニット部材 3 4 0 の上端を基体 1 6 0 の所定箇所に固定するだけで、そのユニット部材 3 4 0 を回動不能に固定できるとともに、前面カバーパネル 3 3 1、化粧シート 3 3 2、後面カバーパネル 3 3 3 を所定の配置位置に保持できるため、取り付け、取り外しを容易に行うことが出来る。

30

【 0 1 6 6 】

なお、このユニット部材 3 4 0 の形状や大きさ等は後述するように任意に変形可能であるとともに、それに組み付ける照明装置としての LED やランプ等の種類も限定されるものではなく、それ以外の表示器等の各種装置が組み込まれていてもよい。

【 0 1 6 7 】

また、本実施例におけるユニット部材 3 4 0 は、その下端を中心に回動自在に、かつ、取り外し自在に設けられていたが、後述するような形状の変更等に応じて、左右端や上端を中心に回動自在に設けられていてもよいし、単に基体 1 6 0 に対して取り外し自在に設けられていてもよい。

【 0 1 6 8 】

40

次に、例えば機種変更に伴ってスロットマシン 1 の構成を変更する際における各種部材、装置の交換例を、図 1 1 ~ 図 1 5 に基づいて説明する。

【 0 1 6 9 】

まず図 1 1 には、所定の演出を実行する演出手段としての液晶表示器 1 3 5 が、筐体 2 の設置板 9 2 に対して交換可能に取り付けられたユニットとしてのリールユニット 5 2 の側面に一体的に組み付けられ、この液晶表示器 1 3 5 の液晶表示部 1 5 が、可変表示部を構成する透視窓 1 4 の側方に設けられるとともに、透視窓 1 4 が、図 1 1 (a)、(c) に示されるように、各リール 5 1 L、5 1 C、5 1 R に対応してする 3 つの透視窓 1 4 L、1 4 C、1 4 R にて構成されているスロットマシン 1 a が示されている。

【 0 1 7 0 】

50

上記実施例におけるスロットマシン 1 においては、液晶表示部 1 5 は前面カバーパネル 3 0 3 の略中央部に設けられ、かつ、液晶表示器 1 3 5 は前面扉 4 を構成する基体 1 6 0 の後面上部に取り付けられていたが、このスロットマシン 1 a のように、液晶表示器 1 3 5 は筐体 2 側に取り付けることも可能である。また、この液晶表示器 1 3 5、及びこの液晶表示器 1 3 5 を制御する演出制御手段が設けられる演出制御基板 2 0 1 が収納された収納ケース 5 5 0 は、設置板 9 2 に対して着脱自在なリールユニット 5 2 の側面に一体的に組み付けられている。

【 0 1 7 1 】

すなわち、リール 5 1 L、5 1 C、5 1 R と、このリール 5 1 L、5 1 C、5 1 R を制御をする遊技制御手段が設けられた遊技制御基板 2 0 0 が収納された収納ケース 5 0 0 とが一体的に組み付けられるとともに、設置板 9 2 に対して着脱自在に取り付けられたリールユニット 5 2 に、演出手段としての液晶表示器 1 3 5 と、前記遊技制御基板 2 0 0 とは別個に設けられるとともに、前記液晶表示器 1 3 5 を制御する演出制御手段が設けられた演出制御基板 2 0 1 が収容される収容ケース 5 5 0 とが一体的に組み付けられている。

10

【 0 1 7 2 】

このように、液晶表示器 1 3 5 を制御する演出制御手段が設けられた演出制御基板 2 0 1 が、筐体 2 に対して交換可能に取り付けられたリールユニット 5 2 に一体的に組み付けられていることにより、例えば機種変更等に伴うゲーム内容の変更とともに、液晶表示部 1 5 に表示する演出内容も変更する場合、新たな演出プログラムを登録するために演出制御基板 2 0 1 を交換することがあるため、リールユニット 5 2 の交換作業とともに演出制御基板 2 0 1 を交換することが出来る。

20

【 0 1 7 3 】

また、このように可変表示装置 5 0 周辺の構成が変更される場合にあっては、図 1 1 (a) に示されるように、化粧シート 3 0 4 を、開口部 3 0 8 のない化粧シート 3 0 4 a に交換するとともに、図 1 1 (b)、(c) に示されるように、化粧シート 3 3 2 を、この機種の構成に対応して 3 つの透視窓 1 4 L、1 4 C、1 4 R が形成されるとともに、液晶表示部 1 5 を透視可能とする開口部 3 0 8 a 及び適宜装飾が予め施された化粧シート 3 3 2 a に交換することにより、前面扉 4 の前面意匠の変更に容易にすることが出来る。

【 0 1 7 4 】

さらに、ユニット部材 3 4 0 は、前述したように基体 1 6 0 に対して取り外し自在に取り付けられているため、図 1 1 (c) に示されるように機種の構成に対応した形状に予め構成されたユニット部材 3 4 0 a に交換するだけで、化粧シート 3 3 2 a に形成される透視窓 1 4 の配置位置や各種 LED 及び表示器等の配置位置の変更に容易に対応することが出来る。

30

【 0 1 7 5 】

また、このように複数種類の機種で共通して使用することが可能であるか機種に固有のものであるかに関わらず、所定の演出を実行可能な演出手段（ここでは液晶表示器 1 3 5）が、可変表示装置 5 0 と遊技制御手段である制御部 2 1 0 とが互いに一体的に組み付けられたユニットとしてのリールユニット 5 2 に対して一体的に組み付けられていることにより、リールユニット 5 2 をスロットマシン 1 の筐体 2 a から取り外すことで、前記可変表示装置 5 0 及びゲームの進行を制御する制御部 2 1 0 が設けられた遊技制御基板 2 0 0 とともに、演出手段を一緒に取り外すことが出来るため、交換作業が容易になる。

40

【 0 1 7 6 】

次に図 1 2 には、スロットマシン 1 に設けられる演出手段としての液晶表示器 1 3 5 の代わりに、リール 5 1 L、5 1 C、5 1 R とは別個に形成される 3 つの演出用リール 3 5 4 L、3 5 4 C、3 5 4 R が設けられたスロットマシン 1 b が示されている。

【 0 1 7 7 】

このように、機種変更に伴い演出手段が液晶表示器 1 3 5 から 3 つの演出用リール 3 5 4 L、3 5 4 C、3 5 4 R に変更される場合、例えば上部の化粧シート 3 0 4 に設けられる液晶表示部 1 5 が変更されることになるが、この場合、上部の化粧シート 3 0 4 を、3 つ

50

の開口部 3 5 5 L、3 5 5 C、3 5 5 R が予め形成された新規な化粧シート 3 0 4 b に交換するだけで、機種変更に容易に対応することが出来る。

【 0 1 7 8 】

なお、この化粧シート 3 0 4 には、その後側に配置される演出用リール 3 5 4 L、3 5 4 C、3 5 4 R を前方から視認可能とするために開口部 3 5 5 L、3 5 5 C、3 5 5 R が形成されているが、演出用リール 3 5 4 L、3 5 4 C、3 5 4 R を前方から視認可能とする透視領域は、例えば開口でなく透明領域により構成されていてもよい。また、開口部は各演出用リール 3 5 4 L、3 5 4 C、3 5 4 R は別々に形成されているが、1 つの横長の開口部により形成されていてもよい。

【 0 1 7 9 】

また、これら演出用リール 3 5 4 L、3 5 4 C、3 5 4 R を制御する演出制御手段が設けられる演出制御基板 2 0 1 が収納された収納ケース 5 5 0 a は、図 1 2 (c) に示されるように、基体 1 6 0 に取り付けられた演出用リールユニット 3 7 1 の裏面に一体的に組み付けられている。

【 0 1 8 0 】

次に図 1 3 には、スロットマシン 1 に設けられる演出手段としての液晶表示器 1 3 5 の替わりに、リール 5 1 L、5 1 C、5 1 R とは別個に形成される 1 つの演出用リール 3 5 6 が、リールユニット 5 2 の側方に一体的に設けられたスロットマシン 1 c が示されている。

【 0 1 8 1 】

このように、機種変更に伴い演出手段が液晶表示器 1 3 5 から 1 つの演出用リール 3 5 6 に変更されるような場合、液晶表示部 1 5 を視認可能とする開口部 3 0 8 が形成された上部の化粧シート 3 0 4 が、開口部 3 0 4 が形成されていない化粧シート 3 0 4 c に交換されるとともに、中央の化粧シート 3 3 2 が、透視窓 1 4 L、1 4 C、1 4 R 及びこのさらに右側側方に演出用リール 3 5 6 を視認可能とする開口部 3 5 7 が形成された化粧シート 3 3 2 c に交換されることになる。このように、上部の化粧シート 3 0 4 を新規な化粧シート 3 0 4 c に、また、中央の化粧シート 3 3 2 を新規な化粧シート 3 3 2 c に交換するだけで、機種変更に容易に対応することが出来る。

【 0 1 8 2 】

また、リール 5 1 L、5 1 C、5 1 R の側方に他の演出用リール 3 5 6 等が配設され、各リール 5 1 L、5 1 C、5 1 R の横幅が、通常の横幅よりも幅狭となるとともに、配置位置が変更されるような場合には、これに対応して各透視窓 1 4 L、1 4 C、1 4 R の横幅も図 1 3 (b) に示されるように幅狭となるとともに、配置位置が変更されることになるが、化粧シート 3 2 2 c を交換するとともに、図 1 3 (c) に示されるように、ユニット部材 3 4 0 のユニット部材 3 4 0 c への交換だけで済むため、このような変更にも容易に対応することが出来る。

【 0 1 8 3 】

また、演出手段として、このように電氣的駆動源により駆動される機械的構造物により構成される演出用リール 3 5 6 等が適用される場合において、例えば機種変更の際に演出用リール 3 5 6 による演出内容を変更する際には、この演出用リール 3 5 6 を制御する演出制御手段としての制御部 2 3 0 に設けられる R O M 2 3 3 内に登録する回転制御プログラム等を変更するだけでなく、周面に配置する図柄等を変更することが多いため、このような演出手段は、機種固有のものとして使用される。

【 0 1 8 4 】

よって、このように機種変更の際に交換が必要となる演出手段としての演出用リール 3 5 6 が、図 1 3 (b) に示されるように、筐体 2 に対して交換可能に取り付けられるリールユニット 5 2 に対して予め一体的に取り付けられていれば、例えばリールユニット 5 2 等を交換する際に一緒に取り外すことが出来るため、交換作業を容易に行うことが出来る。

【 0 1 8 5 】

さらにこのような場合、演出用リール 3 5 6 の制御プログラムの変更に伴い演出制御基板

10

20

30

40

50

201が交換されることになるため、図13(b)に示されるように、演出用リール356を制御する演出制御手段としての演出制御基板201が収容される収容ケース550が、演出用リール356が組み付けられたリールユニット52に対して一体的に組み付けられていれば、リールユニット52等を交換する際に一緒に取り外すことが出来るため、交換作業をより容易に行うことが出来る。

【0186】

次に図14には、スロットマシン1に設けられる演出手段としての液晶表示器135の替わりに、リール51L、51C、51Rとは別個に形成されるとともに、水平方向を向く軸周りに回動自在に構成された3つの演出用リール358H、358C、358Lがリールユニット52の側方に上下方向に設けられたスロットマシン1dが示されている。

10

【0187】

このように、機種変更に伴い演出手段が液晶表示器135から3つの演出用リール358H、358C、358Lに変更される場合、液晶表示部15を視認可能とする開口部308が形成された上部の化粧シート304が、開口部304が形成されていない化粧シート304dに交換されるとともに、中央の化粧シート332が、透視窓14L、14C、14R及びこのさらに右側側方に、3つの演出用リール358H、358C、358Lそれぞれを視認可能とする開口部359H、359C、359Lが形成された化粧シート332dが変更されることになる。このように、上部の化粧シート304を新規な化粧シート304dに、また、中央の化粧シート332を新規な化粧シート332dに交換するだけで、機種変更に容易に対応することが出来る。

20

【0188】

次に図15には、スロットマシン1に設けられる演出手段としての液晶表示器135の替わりに、リール51L、51C、51Rとは別個に形成されるとともに、上下方向を向く軸周りに回動自在に構成された3つの演出用リール360H、360C、360Lがリールユニット52の側方に上下方向に設けられたスロットマシン1eが示されている。

【0189】

このように、機種変更に伴い演出手段が液晶表示器135から3つの演出用リール360H、360C、360Lに変更される場合、液晶表示部15を視認可能とする開口部308が形成された上部の化粧シート304が、開口部304が形成されていない化粧シート304eに交換されるとともに、中央の化粧シート332が、透視窓14L、14C、14R及びこのさらに右側側方に、3つの演出用リール360H、360C、360Lそれぞれを視認可能とする開口部361H、361C、361Lが形成された化粧シート332eが変更されることになる。このように、上部の化粧シート304を新規な化粧シート304eに、また、中央の化粧シート332を新規な化粧シート332eに交換するだけで、機種変更に容易に対応することが出来る。

30

【0190】

なお、以上説明してきたスロットマシン1～1eにおいては、カバー部材としての前面カバーパネルと後部カバー部材としての後面カバーパネルとがそれぞれ別個に形成されていたが、後部カバー部材としての後面カバーパネルはカバー部材としての前面カバーパネルと別個に形成されているものに限定されるものではなく、例えばカバー部材と後部カバー部材とが、内部に化粧部材を挟み込み可能なように2つ折りで、あるいは内部に化粧部材を差し込み可能なように一体的に形成されていてもよい。

40

【0191】

また、図16には、このような機種変更等に伴い、リール51L、51C、51Rの配置位置やリール51L、51C、51Rの幅等が変更される場合において、リール51L、51C、51Rの配置を変更する方法の一例が示されている。

【0192】

図16(a)に示されるように、各リール51L、51C、51Rを回動自在に軸支するリールモータ54L、54C、54Rは、リールユニット52内に設けられるリールモータ取付板362に形成された穴部363内に頭部364を嵌合し、該頭部364の後端に

50

形成される頭部 3 6 4 よりも大径の台座部 3 6 5 の先端面 3 6 5 a を当接させた状態で、該台座部 3 6 5 の後端面 3 6 5 b 側から挿通された固定ネジ 3 6 7 をリールモータ取付板 3 6 2 に形成されたネジ孔 3 6 6 に螺入することにより取り付けられている。

【 0 1 9 3 】

ここで各リール 5 1 L、5 1 C、5 1 R のリールモータ取付板 3 6 2 に対する取付位置を水平方向に変更する場合、図 1 6 (b) に示されるように、リールモータ 5 4 の頭部 3 6 4 を穴部 3 6 3 内に嵌合せずに、台座部 3 6 5 の後端面 3 6 5 b をリールモータ取付板 3 6 2 に当接した状態で、先端面 3 6 5 a 側から固定ネジ 3 6 7 を挿通してネジ孔 3 6 6 に螺入する。

【 0 1 9 4 】

このようにすることで、台座部 3 6 5 及びリールモータ取付板 3 6 2 の厚み分 (P 1) だけ、リール 5 1 L、5 1 C、5 1 R がリールモータ取付板 3 6 2 から離間して配置されることになる。よって、リールモータ取付板 3 6 2 の配置位置を変更することなく、リール 5 1 L、5 1 C、5 1 R の配置位置を変更することが出来るのである。

【 0 1 9 5 】

次に図 1 7 には、前述した化粧部材としての化粧シートを、巻取装置を介して巻取り可能に設け、基体 1 6 0 に対して取り付けられた状態において、表面の装飾内容を変更可能とする場合の一例が示されている。

【 0 1 9 6 】

具体的には、図 1 7 (a) に示されるように、例えば、種々の装飾が施された下部の化粧シート 3 2 1 f が、下部飾り枠 3 2 3 内下部に設けられる補給ローラ 3 6 8 に予め巻回されるとともに、この巻回された化粧シート 3 2 1 f の端部は上部に設けられる巻取ローラ 3 6 9 に取り付けられており、巻取ローラ 3 6 9 が図示しない駆動装置により駆動させることより新規な化粧シート 3 2 1 f が引き出されて、図 1 7 (b) に示されるように、新規な図柄に変更されるようになっている。なお、このような巻取装置は、駆動装置に駆動されるものに限られず、所定箇所に設けられるハンドル等により巻取り可能としても良い。

【 0 1 9 7 】

このように化粧シートを引き出し可能に構成することで、機種変更等に伴う装飾内容の変更に伴い逐次新規な化粧シートに取り替える必要がないので、機種変更にとともなう装飾変更を容易に行うことが出来るとともに、機種変更時等でなくても、装飾内容を容易に変更することが出来るため、興趣が向上する。

【 0 1 9 8 】

次に図 1 8 には、本発明の第 2 の実施例としての前面扉が示されている。この前面扉 4 a を構成する基体 1 6 0 a は、非透光性の樹脂材によりパネル状に構成されているとともに、この基体 1 6 0 a の前面側の一部には、透明な樹脂材からなる透光性領域 3 7 2、3 7 3 が上下に形成されている。

【 0 1 9 9 】

この基体 1 6 0 a における透光性領域 3 7 2、3 7 3 の後面側には、化粧部材としての化粧シート 3 7 4、3 7 5 が、さらにこれら化粧シート 3 7 4、3 7 5 の後面側には、後部カバー部材としての後面カバーパネル 3 7 6、3 7 7 が、基体 1 6 0 a の所定箇所に形成されたネジ孔 3 7 8、3 7 9 に螺入可能なネジ 3 8 0、3 8 1 により、それぞれ基体 1 6 0 a に対して着脱自在に取り付け出来るようになっている。

【 0 2 0 0 】

なお、化粧シート 3 7 4 には、前述した液晶表示器 1 3 5 の液晶表示部 1 5 を視認可能とする開口部 3 0 8、3 3 5 や、透視窓 1 4、孔部 3 1 9 等が形成されているとともに、前面側には所定の装飾が施されている。また化粧シート 3 7 5 には、前面に機種を特定可能なタイトル (機種) 名が印刷されている。

【 0 2 0 1 】

さらに、これら化粧シート 3 7 4、3 7 5 及び後面カバーパネル 3 7 6、3 7 7 は、予め

10

20

30

40

50

クリップ 3 4 2 により互いに体的に組み付けられた状態で基体 1 6 0 a に対して取り付けられる。

【 0 2 0 2 】

このように本発明にあっては、前述したように前面扉を構成する基体 1 6 0 に対して交換可能に取り付けられる化粧シートの前面に施された装飾を視認可能とする透光性領域を有するカバー部材としての前面カバーパネルが基体 1 6 0 に対して取り付けられているものに限定されるものではなく、前面扉 4 a を構成する基体 1 6 0 a の一部に、その後面側に取り付けられる化粧シートの前面に施された装飾を前方から視認可能とする透光性領域が予め一体的に形成されていてもよい。

【 0 2 0 3 】

またこの場合、前記透光性領域 3 7 2、3 7 3 が基体 1 6 0 a の一部に別々に形成されているが、例えば基体 1 6 0 a 全体が透光性を有する透明な樹脂材等により形成され、透光性領域が全体に形成されてもよい。さらに、1 つの透光性領域の後面側に複数の別々の化粧シートを取り付けるようにしてもよい。

【 0 2 0 4 】

また、図 1 ~ 図 1 7 に示されるスロットマシン 1 ~ 1 f にあっては、透光性領域が前面扉 4 の前面における上、中、下段それぞれに別々に構成されていたが、図 1 8 に示されるように、前面扉 4 a の前面における上部から中央部にかけて 1 つの透光性領域が形成されてもよい。

【 0 2 0 5 】

また、このような透光性領域 3 7 2、3 7 3 は、前面扉 4 a を構成する基体 1 6 0 a の成型時において予め一体的に形成されるものに限定されるものではなく、例えば基体 1 6 0 a に形成された開口部に透明な樹脂材等により形成されたカバーパネルが一体的に組み付けられることにより形成されていてもよい。

【 0 2 0 6 】

前記各実施例における各要素は、本発明に対して以下のように対応している。

【 0 2 0 7 】

本発明の請求項 1 は、1 ゲームに対して賭数を設定することによりゲームが開始可能となるとともに、表示状態を変化させることが可能な可変表示装置 (5 0) の表示結果が導出表示されることにより 1 ゲームが終了し、前記可変表示装置の表示結果に応じて所定の入賞が発生可能なスロットマシン (1、1 a ~ 1 f) において、

前面が開く本体 (筐体 2) と、

前記本体の前面開口を開閉可能に設けられる前面扉 (前面扉 4、基体 1 6 0) と、

少なくとも一部に透光性領域を有するカバー部材 (前面カバーパネル 3 0 3、3 2 0) と、

前記カバー部材の後面側に配置され、前記透光性領域に対応する箇所に装飾が施された化粧部材 (化粧シート 3 0 4、3 2 1) と、

前記化粧部材の後面側に配置され、該化粧部材の後面を被覆する後部カバー部材 (後面カバーパネル 3 0 5、3 2 2) と、

前記ゲームの進行を制御する遊技制御手段 (制御部 2 1 0) と、

該遊技制御手段とは別個に設けられるとともに、前記ゲームの進行に関わる所定の演出を実行可能な演出手段 (液晶表示器 1 3 5、演出用リール 3 5 4 L、3 5 4 C、3 5 4 R、3 5 6、3 5 8 H、3 5 8 C、3 5 8 L、3 6 0 H、3 6 0 C、3 6 0 L) を制御する演出制御手段 (制御部 2 3 0) と、を備え、

前記可変表示装置と前記遊技制御手段とが互いに一体的に組み付けられたユニット (リールユニット 5 2) は、前記本体に対して交換可能に取り付けられ、

前記化粧部材、前記カバー部材、前記後部カバー部材は、該化粧部材が前記カバー部材及び前記後部カバー部材により挟持され互いに枠体 (上部飾り枠 3 0 6、下部飾り枠 3 2 3) に一体的に組み付けられた状態で前記前面扉の前面側から該前面扉の一部の領域である所定領域に前記枠体を介して係止され、前記前面扉を開放して前記前面扉の後面側から

10

20

30

40

50

前記係止を解除することにより取り外される（図 7、8 参照）。

【0208】

本発明の請求項 2 は、前記後部カバー部材（後面カバーパネル 305、322）は、透光性部材にて構成され、前記前面扉（前面扉 4、基体 160）の所定箇所には、前記後部カバー部材を後側から照らす照明装置（蛍光灯 138）が設けられている。

【0212】

本発明は、前記カバー部材（前面カバーパネル 303、331、320）は、前記前面扉（前面扉 4、4a、基体 160、160a）の後面側から取り付けられている。

【0213】

本発明は、1 ゲームに対して賭数を設定することによりゲームが開始可能となるとともに、表示状態を変化させることが可能な可変表示装置（50）の表示結果が導出表示されることにより 1 ゲームが終了し、前記可変表示装置の表示結果に応じて所定の入賞が発生可能なスロットマシン（1、1a～1f）において、該スロットマシンは、前記ゲームの進行を制御する遊技制御手段（制御部 210）と、該遊技制御手段とは別個に設けられるとともに、前記ゲームの進行に関わる所定の演出を実行可能な演出手段（液晶表示器 135、演出用リール 354L、354C、354R、356、358H、358C、358L、360H、360C、360L）を制御する演出制御手段（制御部 230）と、を備え、少なくとも前記可変表示装置と前記遊技制御手段とが互いに一体的に組み付けられたユニット（リールユニット 52）が、前記スロットマシンの本体（筐体 2）に対して交換可能に取り付けられており、また、前記スロットマシンの前面側に設けられる前面扉（前面扉 4、4a、基体 160、160a）の少なくとも一部に透光性領域（372、373）が形成されるとともに、この透光性領域の後面側には、少なくとも一部に装飾が施された化粧部材（化粧シート 304、332、321、374、375）が前記前面扉に対して交換可能に取り付けられ、前記透光性領域を通して前記化粧部材に施された装飾が視認可能に構成されている。

【0214】

本発明は、前記化粧部材（化粧シート 304、332、321、374、375）のさらに後面側には、該化粧部材の後面を被覆する後部カバー部材（後面カバーパネル 305、333、322、376、377）が、前記前面扉（前面扉 4、4a、基体 160、160a）に対して取り付けられている。

【0215】

本発明は、前記化粧部材（化粧シート 304、332、321、374、375）及び前記後部カバー部材（後面カバーパネル 305、333、322、376、377）は、互いに一体的に組み付けられた状態で前記前面扉（前面扉 4、4a、基体 160、160a）に対して着脱自在に取り付けられている。

【0216】

本発明の請求項 3 は、前記ユニット（リールユニット 52）に、前記演出制御手段（制御部 230）が一体的に組み付けられている。

【0217】

本発明の請求項 4 は、前記演出手段（液晶表示器 135）は、複数種類の機種で共通して使用することが可能であり、前記前面扉（前面扉 4、4a、基体 160、160a）に対して予め取り付けられている。

【0218】

本発明の請求項 5 は、前記演出手段（演出用リール 354L、354C、354R、356、358H、358C、358L、360H、360C、360L）は、機種に固有のものであり、前記ユニット（リールユニット 52）に対して予め取り付けられている。

【0219】

本発明の請求項 6 は、前記化粧部材（化粧シート 304、332、321、374、375）は、前記前面扉（前面扉 4、4a、基体 160、160a）における複数箇所に別々に取り付けられている。

【 0 2 2 0 】

本発明は、前記化粧部材（化粧シート 3 3 2）に、前記可変表示装置の可変表示部を視認可能とする窓部（透視窓 1 4）が設けられている。

【 0 2 2 1 】

本発明の請求項 7 は、前記化粧部材（化粧シート 3 0 4）に、前記ゲームに関わる所定の情報を表示する情報表示部（遊技情報表示部 8）が設けられている。

【 0 2 2 2 】

本発明の請求項 8 は、前記化粧部材（化粧シート 3 2 1）に、前記スロットマシン（1、1 a ~ 1 f）の機種名等を表示する機種名表示部（タイトル表示部 2 6）が設けられている。

10

【 0 2 2 3 】

本発明は、前記化粧部材（化粧シート 3 0 4、3 3 2、3 2 1、3 7 4、3 7 5）の後方には、前記化粧部材を装飾する装飾装置（各種 LED 1 1 1 ~ 1 1 7、演出用ランプ 1 4 0 ~ 1 4 9、各種表示器 1 0 8 ~ 1 0 9）が組み付けられたユニット部材（3 4 0）を備えとともに、該ユニット部材により前記化粧部材は前記カバー部材の後面に対して圧接して取り付けられている。

【 0 2 2 4 】

本発明は、前記ユニット部材（3 4 0）は、その周縁のうち的一端縁を中心にして、前記前面扉（前面扉 4、4 a、基体 1 6 0、1 6 0 a）に対して回動自在に枢支されている。

20

【 0 2 2 5 】

以上、本発明の実施例を図面により説明してきたが、具体的な構成はこれら実施例に限られるものではなく、本発明の要旨を逸脱しない範囲における変更や追加があっても本発明に含まれる。

【 0 2 2 6 】

例えば、上記実施例においては、遊技媒体としてメダルを使用することにより遊技を行うことが出来るスロットマシンに本発明を適用した例を記載してきたが、本発明は、遊技媒体としてパチンコ玉等の遊技球を使用することにより遊技を行うことが出来るスロットマシンに適用することも可能である。

【 0 2 2 7 】

なお、上記実施例におけるスロットマシンにおいては、遊技者は 1 ゲームに対する賭数を任意に設定（メダル 1 枚分 ~ 3 枚分のいずれかの賭数を選択）出来るようになっていたが、本発明におけるスロットマシンは、請求項中に記載のように「1 ゲームに対して賭数を設定することによりゲームが開始可能となる」ものであれば、これら賭数の範囲は上記のようにメダル 1 枚 ~ 3 枚の範囲で遊技者が選択できるものに限定されるものではない。例えば 1 ゲームに対してメダル 1 枚分の賭数が設定された場合、もしくはメダル 2 枚分の賭数が設定された場合、もしくはメダル 3 枚分の賭数が設定された場合のみゲームが開始可能となるように、1 ゲームに対する賭数が予め定められた所定の値に設定されていて、遊技者が賭数を選択できるようになっていないものも含む。

30

【 0 2 2 8 】

【発明の効果】

本発明は以下の効果を奏する。

40

【 0 2 2 9 】

（a）請求項 1 項の発明によれば、ユニットをスロットマシンの本体から取り外すことで、可変表示装置及びゲームの進行を制御する遊技制御手段を一緒に取り外すことが出来るため、交換作業が容易になる。また、装飾が施された化粧部材を交換することで、前面扉の前面意匠を、前面扉全体を交換することなく容易に変更することが出来るとともに、化粧部材の前面はカバー部材により保護されるため、化粧部材の前面の劣化や損傷が効果的に防止される。

また、カバー部材、化粧部材、後部カバー部材の前面扉への取り付け、取り外しを容易

50

に行うことが出来るばかりか、取り付け時におけるカバー部材と化粧部材と後部カバー部材との位置ずれ等が効果的に防止される。

さらに、カバー部材、化粧部材、後部カバー部材が不正に取り外されることを防止できる。

【0230】

(b) 請求項2項の発明によれば、後部カバー部材を通して化粧部材を後側から照らすことが出来る。

【0238】

(c) 請求項3項の発明によれば、ユニットをスロットマシンの本体から取り外すことで、可変表示装置及びゲームの進行を制御する遊技制御手段とともに、演出手段を制御する演出制御手段を一緒に取り外すことが出来るため、交換作業が容易になる。

10

【0239】

(d) 請求項4項の発明によれば、交換が不要な演出手段の取り付け、取り外しの手間を省くことが出来るため、交換作業が容易になる。

【0240】

(e) 請求項5項の発明によれば、ユニットをスロットマシンの本体から取り外すことで、可変表示装置及びゲームの進行を制御する遊技制御手段とともに演出手段を一緒に取り外すことが出来るため、交換作業が容易になる。

【0241】

(f) 請求項6項の発明によれば、前面扉の意匠を部分的に変更することが可能となる。

20

【0243】

(g) 請求項7項の発明によれば、ゲーム内容の変更に伴うゲームに関わる情報の表示内容の変更に容易に対応出来る。

【0244】

(h) 請求項8項の発明によれば、機種変更に伴う機種名の変更に容易に対応出来る。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の適用された遊技機の一例としてのスロットマシンを示す正面図である。

【図2】図1のスロットマシンの内部構造図である。

【図3】図1のスロットマシンの前面扉の裏面図である。

30

【図4】本実施例のスロットマシンの構成を示すブロック図である。

【図5】同じく本実施例のスロットマシンの構成を示すブロック図である。

【図6】(a)は筐体及び前面扉の構成を示す組立分解斜視図であり、(b)、(c)は(a)の要部拡大図である。

【図7】前面扉の構成を示す組立分解斜視図である。

【図8】(a)は基体160における上開口部163の前面側に上部のカバー部材、化粧部材、後部カバー部材を取り付けた状態を示す断面図であり、(b)は基体160における凹部165の前面側に上部のカバー部材、化粧部材、後部カバー部材を取り付けた状態を示す断面図である。

【図9】前面扉の後面の構造を示す要部拡大縦断面図である。

40

【図10】基体160における下開口部164の後面にカバー部材、化粧部材、後部カバー部材を取り付けた状態を示す断面図である。

【図11】(a)はスロットマシン1aを示す正面図であり、(b)はその筐体2の要部拡大正面図であり、(c)はその前面扉4の後面側の要部を示す図である。

【図12】(a)はスロットマシン1bを示す正面図であり、(b)はそのカバー部材、化粧部材、後部カバー部材を示す概略図であり、(c)はその前面扉4の後面側の要部を示す断面図である。

【図13】(a)はスロットマシン1cを示す正面図であり、(b)はそのカバー部材、化粧部材、後部カバー部材を示す概略図であり、(c)はその前面扉4の後面側の要部を示す概略図である。

50

【図 1 4】(a) はスロットマシン 1 d を示す正面図であり、(b) はそのカバー部材、化粧部材、後部カバー部材を示す概略図であり、(c) はその前面扉 4 の後面側の要部を示す概略図である。

【図 1 5】(a) はスロットマシン 1 e を示す正面図であり、(b) はそのカバー部材、化粧部材、後部カバー部材を示す概略図であり、(c) はその前面扉 4 の後面側の要部を示す概略図である。

【図 1 6】(a) は通常時におけるリール 5 1 の配置例を示す概略図であり、(b) はリール 5 1 の他の配置例を示す概略図である。

【図 1 7】(a) は化粧シートを巻き取り可能とした場合の一例を示す概略図であり、(b) は化粧シートが巻き取られている状態のスロットマシン 1 f を示す正面図である。

10

【図 1 8】本発明の第 2 の実施例としての前面扉の構成を示す斜視図である。

【符号の説明】

1	スロットマシン	
2	筐体	
3	施錠装置	
3 a	鍵穴	
4、4 a	前面扉	
7	突出部	
8	遊技情報表示部	
9	メダル払出穴	20
1 0	灰皿	
1 1	メダル受皿	
1 2 a、1 2 b	放音部	
1 3	放音部	
1 4	透視窓	
1 5	液晶表示部	
1 6 ~ 2 5	演出用表示部	
2 6	タイトル表示部	
2 7	リプレイ表示部	
2 8	スタート表示部	30
2 9	ウェイト表示部	
3 0	投入指示表示部	
3 1	クレジット表示部	
3 2	ゲーム回数表示部	
3 3	ペイアウト表示部	
3 4	メダル投入部	
3 5	メダル詰まり解除ボタン	
3 6 a	1 枚 B E T ボタン	
3 6 b	M A X B E T ボタン	
3 7	精算ボタン	40
3 8	スタートレバー	
3 9	ストップボタンユニット	
4 0 L、4 0 C、4 0 R	ストップボタン	
4 1 ~ 4 3	遊技効果 L E D 部	
4 5	1 枚賭け表示部	
4 6	2 枚賭け表示部	
4 7	3 枚賭け表示部	
5 0	可変表示装置	
5 1 L、5 1 C、5 1 R	リール	
5 2	リールユニット	50

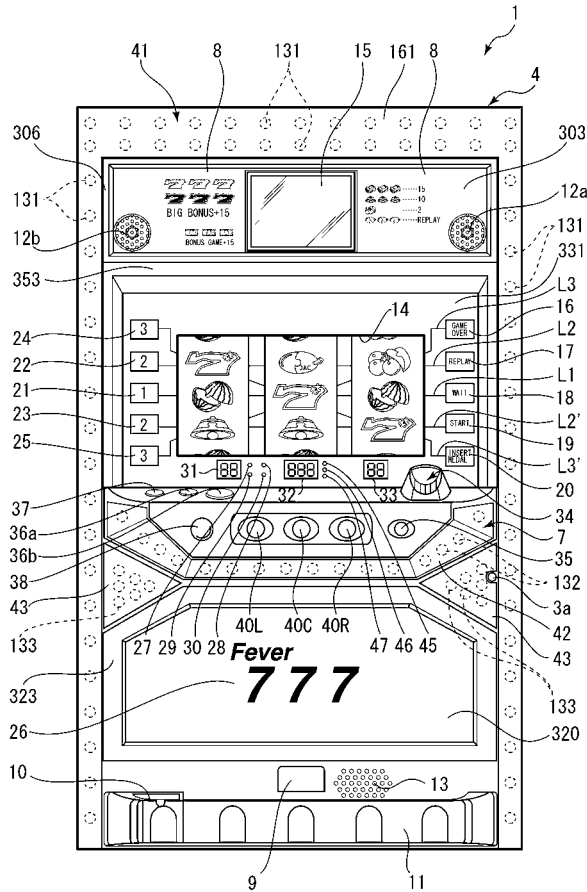
5 3	リール間隠蔽部材	
5 4 L、5 4 C、5 4 R	リールモータ	
5 5	リールLED	
5 6 L、5 6 C、5 6 R	リールセンサ	
5 7	ホッパータンク	
5 8	案内レール	
5 9	オーバーフロータンク	
6 0	満タンセンサ	
6 1	払出メダルセンサ	
6 2	ホッパーモータ	10
6 3	メダル排出口	
6 4	電源ユニット	
6 5	メインスイッチ部	
6 6	第2リセットボタン	
6 7	設定ボタン	
6 8	自動精算選択スイッチ部	
6 9	打止め選択スイッチ部	
7 0	設定キー挿入部	
7 1	メダルセクタ	
7 2	不正メダル排出部	20
7 3	返却メダル流路	
8 0	メインスイッチ	
8 1	第2リセットスイッチ	
8 2	設定キースイッチ	
8 3	設定スイッチ	
8 4	電源コード	
8 5	背板	
8 6、8 7	側板	
8 8	上板	
8 9	底板	30
9 0 a、9 0 b	放熱用穴部	
9 1	有孔板	
9 2	載置板	
9 3	突出片	
9 4	ガイド片	
9 5	載置板前端片	
9 6	リールユニット前端片	
9 7	挿通孔	
9 8	ネジ	
9 9	ネジ孔	40
1 0 0	1枚BETスイッチ	
1 0 1	MAXBETスイッチ	
1 0 2	スタートスイッチ	
1 0 3 L、1 0 3 C、1 0 3 R	ストップスイッチ	
1 0 4	精算スイッチ	
1 0 5	第1リセットスイッチ	
1 0 6	投入メダルセンサ	
1 0 7	流路切替ソレノイド	
1 0 8	クレジット表示器	
1 0 9	ゲーム回数表示器	50

1 1 0	ペイアウト表示器	
1 1 1	リプレイ L E D	
1 1 2	スタート L E D	
1 1 3	ウェイト L E D	
1 1 4	投入指示 L E D	
1 1 5	1 枚賭け L E D	
1 1 6	2 枚賭け L E D	
1 1 7	3 枚賭け L E D	
1 2 0	ボーナス告知 L E D	
1 2 1 a、1 2 1 b	B E T ボタン L E D	10
1 2 2 L、1 2 2 C、1 2 2 R	操作有効 L E D	
1 3 1 ~ 1 3 3	遊技効果 L E D	
1 3 5	液晶表示器	
1 3 6 a、1 3 6 b、1 3 7	スピーカ	
1 3 8	蛍光灯	
1 4 0 ~ 1 4 9	演出用ランプ	
1 5 0	規制片	
1 5 1	ビス	
1 5 2	前向片	
1 5 3	凹部	20
1 5 4	固定板	
1 5 5	蝶番	
1 5 6	取付板	
1 5 7	ナット	
1 5 8	固定ネジ	
1 5 9	溝部	
1 6 0、1 6 0 a	基体	
1 6 1	カバー体	
1 6 2	突出パネル	
1 6 3	上開口部	30
1 6 4	下開口部	
1 6 5	凹部	
1 6 6	ワッシャ	
2 0 0	遊技制御基板	
2 0 1	演出制御基板	
2 0 2	電源基板	
2 0 3	リール中継基板	
2 0 4	リール L E D 中継基板	
2 0 5	外部出力基板	
2 1 0	制御部	40
2 1 1	C P U	
2 1 2	R A M	
2 1 3	R O M	
2 1 4	I / O ポート	
2 1 5	スイッチ回路	
2 1 6	モータ回路	
2 1 7	初期リセット回路	
2 1 8	クロック発生回路	
2 1 9	パルス分周回路	
2 2 0	バッファ回路	50

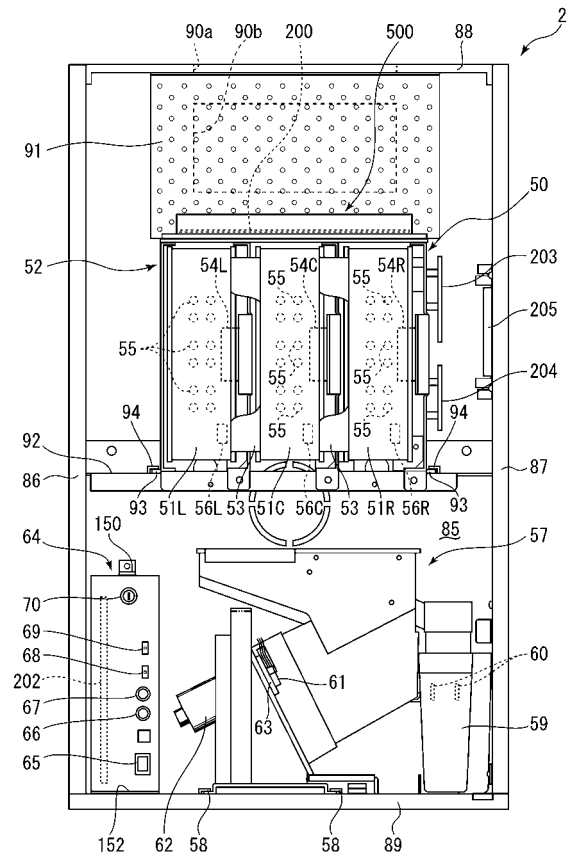
2 2 1	乱数発生回路	
2 2 2	サンプリング回路	
2 2 3	バックアップ電源	
2 3 0	制御部	
2 3 1	C P U	
2 3 2	R A M	
2 3 3	R O M	
2 3 4	I / O ポート	
2 3 5	スピーカ駆動回路	
2 3 6	表示駆動回路	10
2 3 7	L E D 駆動回路	
2 3 8	バックアップ電源	
3 0 3	前面カバーパネル	
3 0 4、3 0 4 b ~ 3 0 4 e	化粧シート	
3 0 5	後面カバーパネル	
3 0 6	上部飾り枠	
3 0 7	孔部	
3 0 8、3 0 8 a	開口部	
3 0 9	切欠部	
3 1 0	切欠部	20
3 1 1 ~ 3 1 3	ネジ挿通孔	
3 1 4	ネジ	
3 1 5	雌ねじ部	
3 1 6	内向片	
3 1 7	係止片	
3 1 7 a	係止爪	
3 1 8	スリット穴	
3 1 9	孔部	
3 2 0	前面カバーパネル	
3 2 1、3 2 1 f	化粧シート	30
3 2 2	後面カバーパネル	
3 2 3	下部飾り枠	
3 2 4 ~ 3 2 6	ネジ挿通孔	
3 2 7	ネジ	
3 2 8	雌ねじ部	
3 2 9	係止片	
3 2 9 a	係止爪	
3 3 0	スリット穴	
3 3 1	前面カバーパネル	
3 3 2、3 3 2 a ~ 3 3 2 e	化粧シート	40
3 3 3	後面カバーパネル	
3 3 4	透光窓	
3 3 5	窓部	
3 3 6	支持片	
3 3 7	ガイド片	
3 3 8	支柱	
3 3 8 a	雌ネジ部	
3 3 9	収容凹部	
3 4 0	ユニット部材	
3 4 1	固定ネジ	50

3 4 2	クリップ	
3 4 3、3 4 4	ランプ基板	
3 4 5	基板	
3 4 6	仕切板	
3 4 7	取付ネジ	
3 4 8	雌ネジ部	
3 4 9	軸部材	
3 5 0	挿通孔	
3 5 1	固定片	
3 5 2	軸受部材	10
3 5 3	中央部飾り枠	
3 5 4 L、3 5 4 C、3 5 4 R	演出用リール	
3 5 5 L、3 5 5 C、3 5 5 R	開口部	
3 5 6	演出用リール	
3 5 7	開口部	
3 5 8 H、3 5 8 C、3 5 8 L	演出用リール	
3 5 9 H、3 5 9 C、3 5 9 L	開口部	
3 6 0 H、3 6 0 C、3 6 0 L	演出用リール	
3 6 1 H、3 6 1 C、3 6 1 L	開口部	
3 6 2	リールモータ取付板	20
3 6 3	穴部	
3 6 4	頭部	
3 6 5	台座部	
3 6 5 a	先端面	
3 6 5 b	後端面	
3 6 6	ネジ孔	
3 6 7	固定ネジ	
3 6 8	補給ローラ	
3 6 9	巻取ローラ	
3 7 0	突片	30
3 7 1	演出用リールユニット	
3 7 2、3 7 3	透光性領域	
3 7 4、3 7 5	化粧シート	
3 7 6、3 7 7	後面カバーパネル	
3 7 8、3 7 9	ネジ孔	
3 8 0、3 8 1	ネジ	
5 0 0、5 5 0、5 5 0 a	収納ケース	
L 1、L 2、L 2'、L 3、L 3'	入賞ライン	

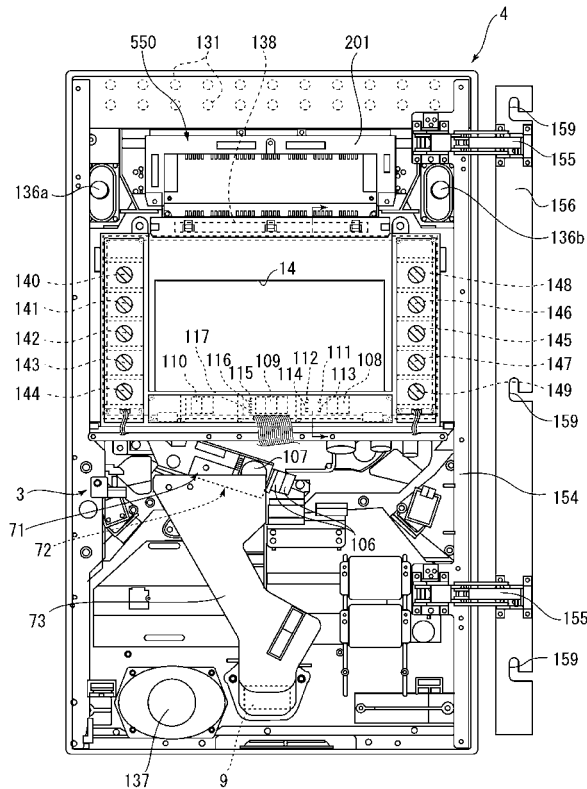
【図 1】



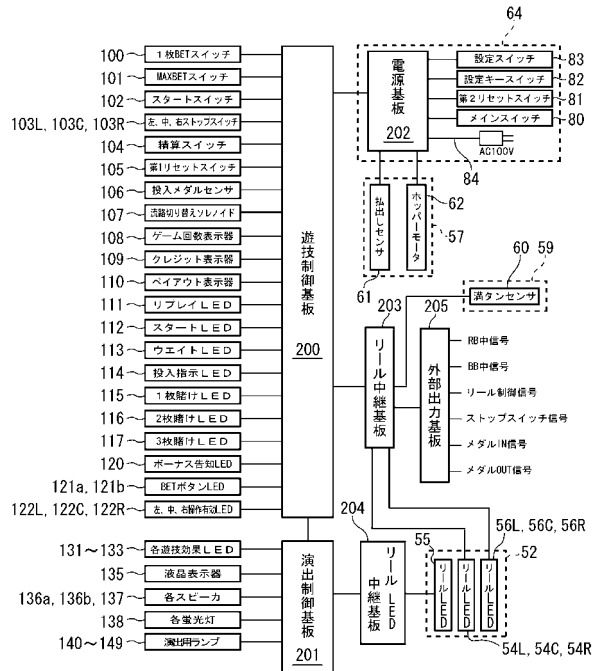
【図 2】



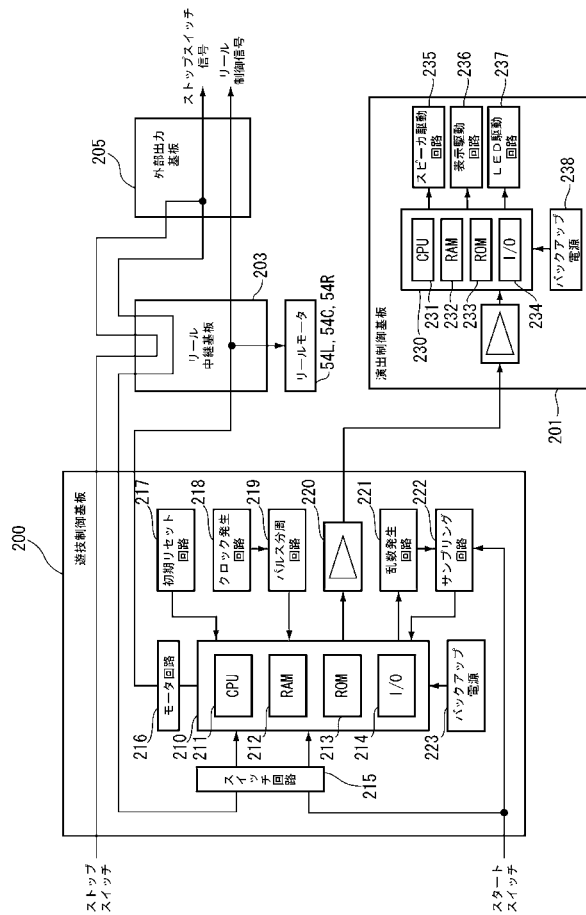
【図 3】



【図 4】

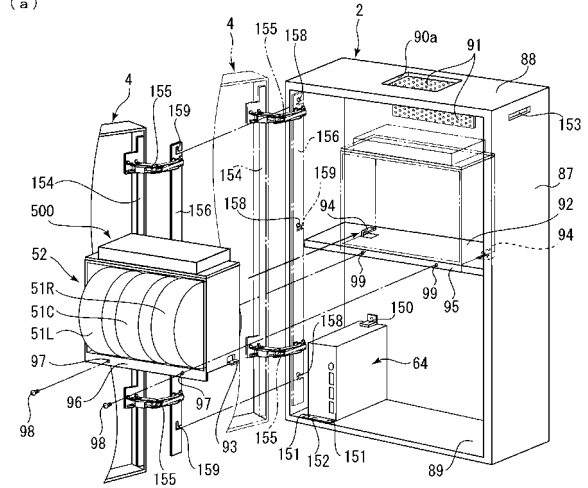


【 図 5 】

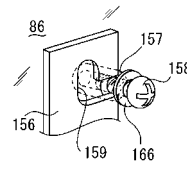


【 図 6 】

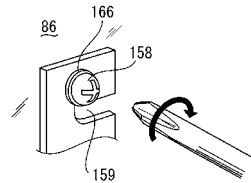
(a)



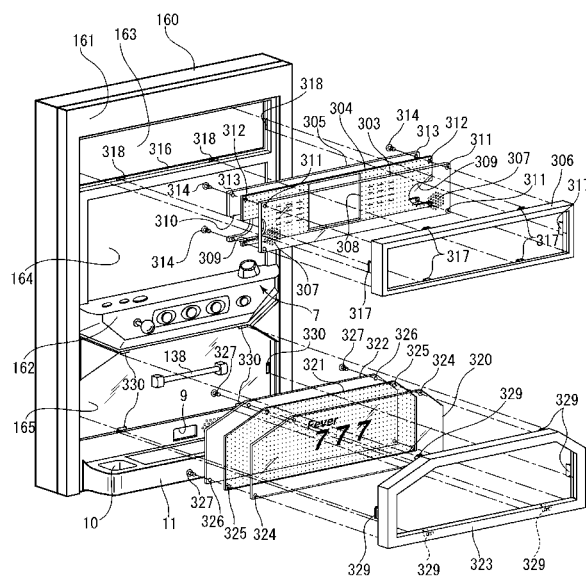
(b)



(c)

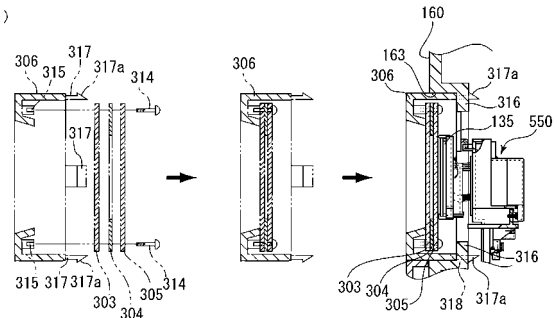


【圖 7】

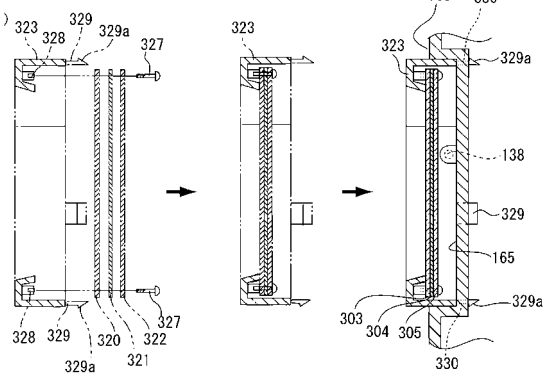


【 図 8 】

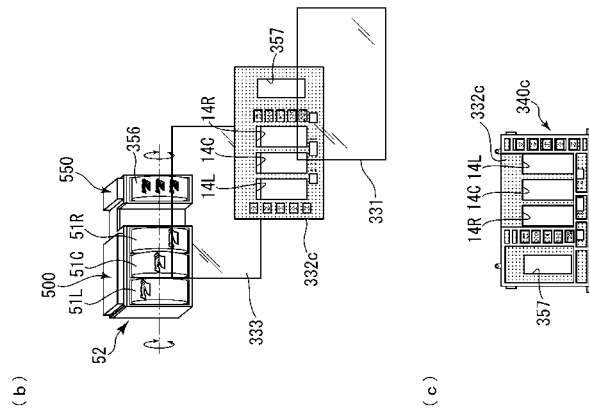
(a)



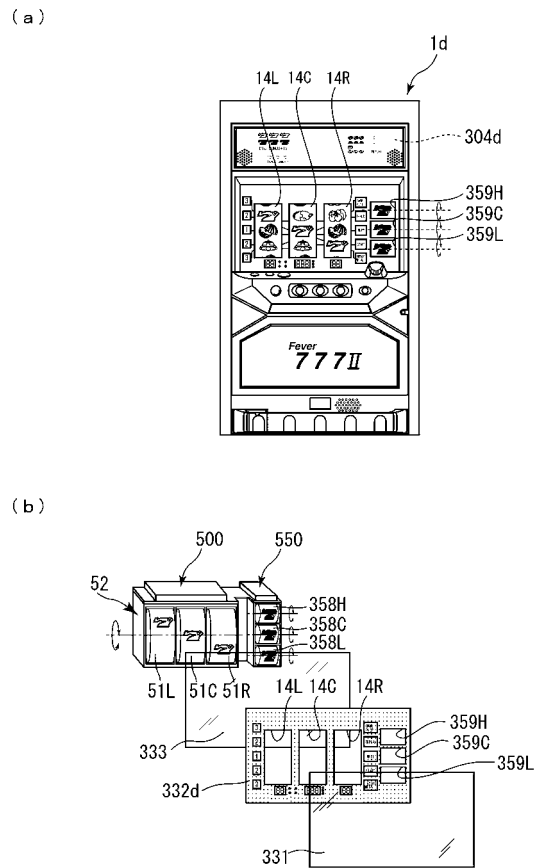
(b)



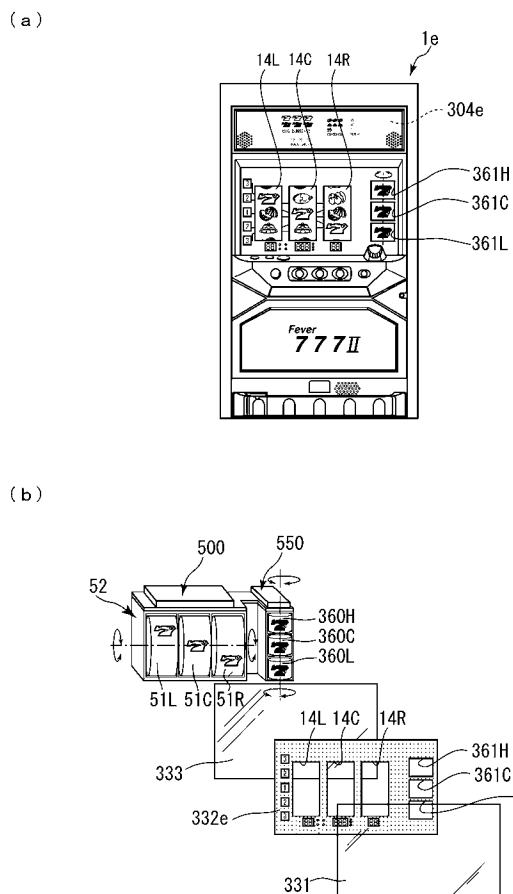
【図 13】



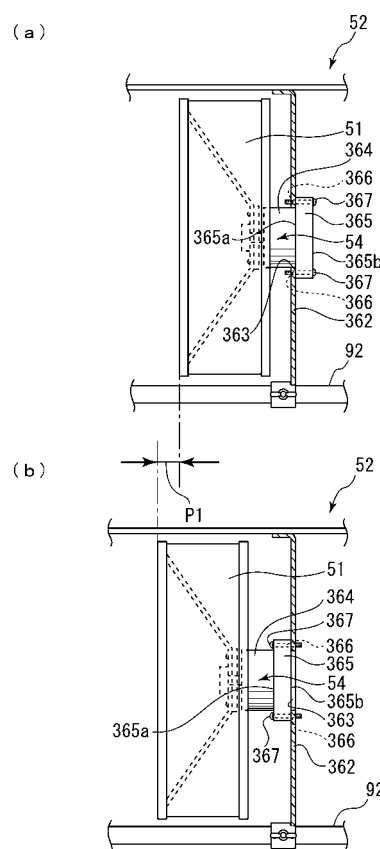
【図 14】



【図 15】

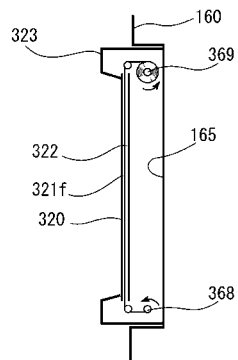


【図 16】

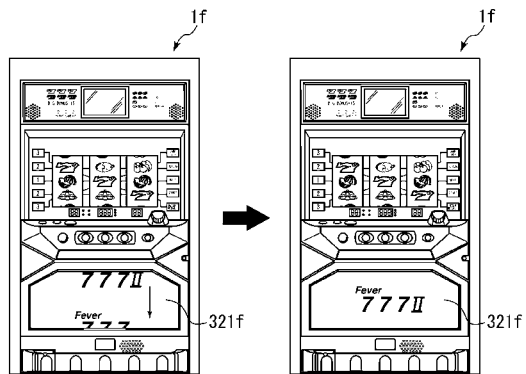


【図 17】

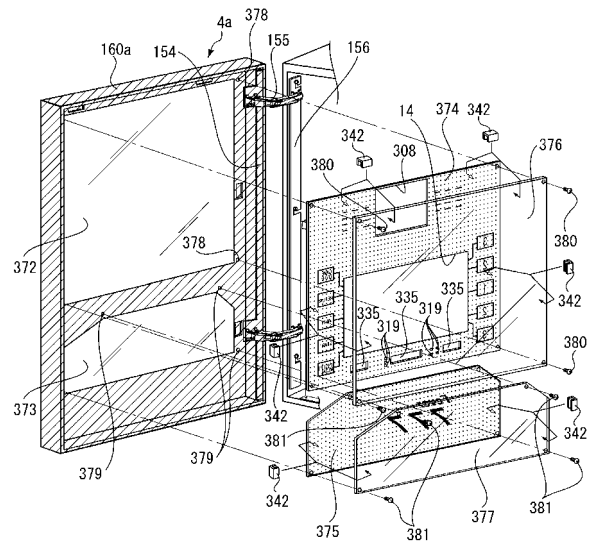
(a)



(b)



【図 18】



フロントページの続き

(74)代理人 100156535

弁理士 堅田 多恵子

(72)発明者 中島 和俊

群馬県桐生市境野町6の460 株式会社三共内

(72)発明者 近藤 真一

群馬県桐生市境野町6の460 株式会社三共内

審査官 大澤 元成

(56)参考文献 実開平04-051985(JP,U)

特開2001-170249(JP,A)

特開平08-164236(JP,A)

特開平10-052525(JP,A)

特開昭63-023187(JP,A)

登録実用新案第3076767(JP,U)

実開平04-065590(JP,U)

実公昭51-032537(JP,Y2)

特開平1-207090(JP,A)

特開2000-222922(JP,A)

特開2000-217966(JP,A)

特開2000-202140(JP,A)

特開平8-071245(JP,A)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

A63F 5/04

A63F 7/02

A63F 9/00

G09F 13/00